

平成24年度

家庭教育実態調査

結果報告書

平成24年10月
静岡県教育委員会
社会教育課

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収率	1
II 調査結果	2
問1 お子様との続柄	2
問2 回答者の現在の年齢	2
問3 家族（同居）の構成員	3
問4 通園状況	4
問5 住んでいる地域	4
問6 回答者の就業状態	5
問7 家庭教育（しつけ等）の中で、特に力を入れていること	6
問8 家庭教育（しつけ等）の状況について、思うこと	7
問9 子どもをほめること	9
問10 子どもをしかること	12
問11 子育てについての悩みや不安	15
問12 子育ての中で、あなたを手助けしてくれる人	19
問13 子育てについて、家族以外で話を聞いてもらえる人	20
問14 子育てについて、家族以外に相談できる人	26
問15 これから、子育てについて話を聞いてもらいたい人	32
問16 これから、子育てについて相談をしたい人	34
問17 家庭教育や子育てに関する知識を得る手段	36
問18 今後、参加したり、行ったりしたいと思うこと	38
問19 アドバイスを受けたり、学習することができる場合に希望する内容	40
III 調査票	42

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、家庭教育支援の効果的な方策について検討を進める上での参考とするため、現在中学校2年生の子どもを持つ親を対象に、家庭における教育の実態、親の意識やニーズ等を調査したものである。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域 静岡県全域(全35市町から25市町を県が抽出)
- (2) 調査対象 中学2年生の保護者(日頃家庭教育を行うことが多い保護者)
- (3) 標本数 2345人(35人×67校)
- (4) 抽出方法
- 1) 回収数を1900人前後と設定し、1学級28人(35人の80%)回収として、必要な学級数を67学級と設定。
 - 2) 県全体を7地区に分け、地区内の市町の位置、各市町の中学生の人数分布を考慮して、市町に割振。
 - 3) 調査は1学校1学級とし、バランスを考えて学校を決定。
- (5) 調査方法 自記式アンケート(選択肢回答)
- ※ 各学校を通じて、保護者へ配布。記入済の各アンケート票は封筒に封入・封緘された状態で各学校で取りまとめ、郵送または宅配便により回収。
- (6) 調査期間 平成24年7月11日(水)～平成24年7月27日(金)

3. 回収率

配布数	有効回収数	有効回収率
2,345票	1,985票	84.6%

この冊子のよみかた

1. 結果は百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入しています。このため百分率の合計が100%にならないことがあります。
2. 数値やグラフ中の「N」は回答者総数を示し、回答比率はこれを100%として算出しています。
3. 複数回数をしてもよい設問では、百分率の合計が100%を超える場合があります。

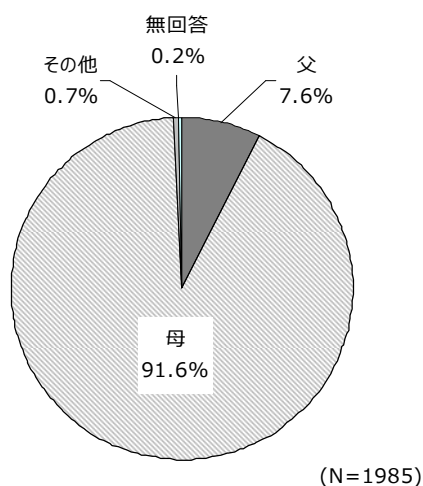
II 調査結果

II 調査結果

問1 お子様との続柄をお答えください。(○は1つ)

回答者は、「母」が91.6%と大半を占めており、「父」は7.6%、「その他」0.7%となっている。「その他」の回答としては「祖母」「施設職員」「姉」などが挙げられている。

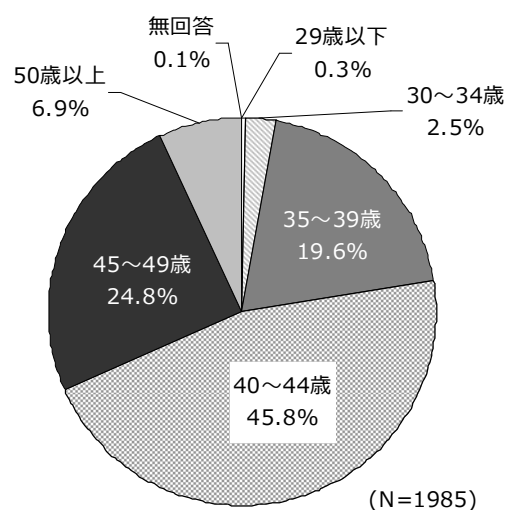
■ 回答者続柄



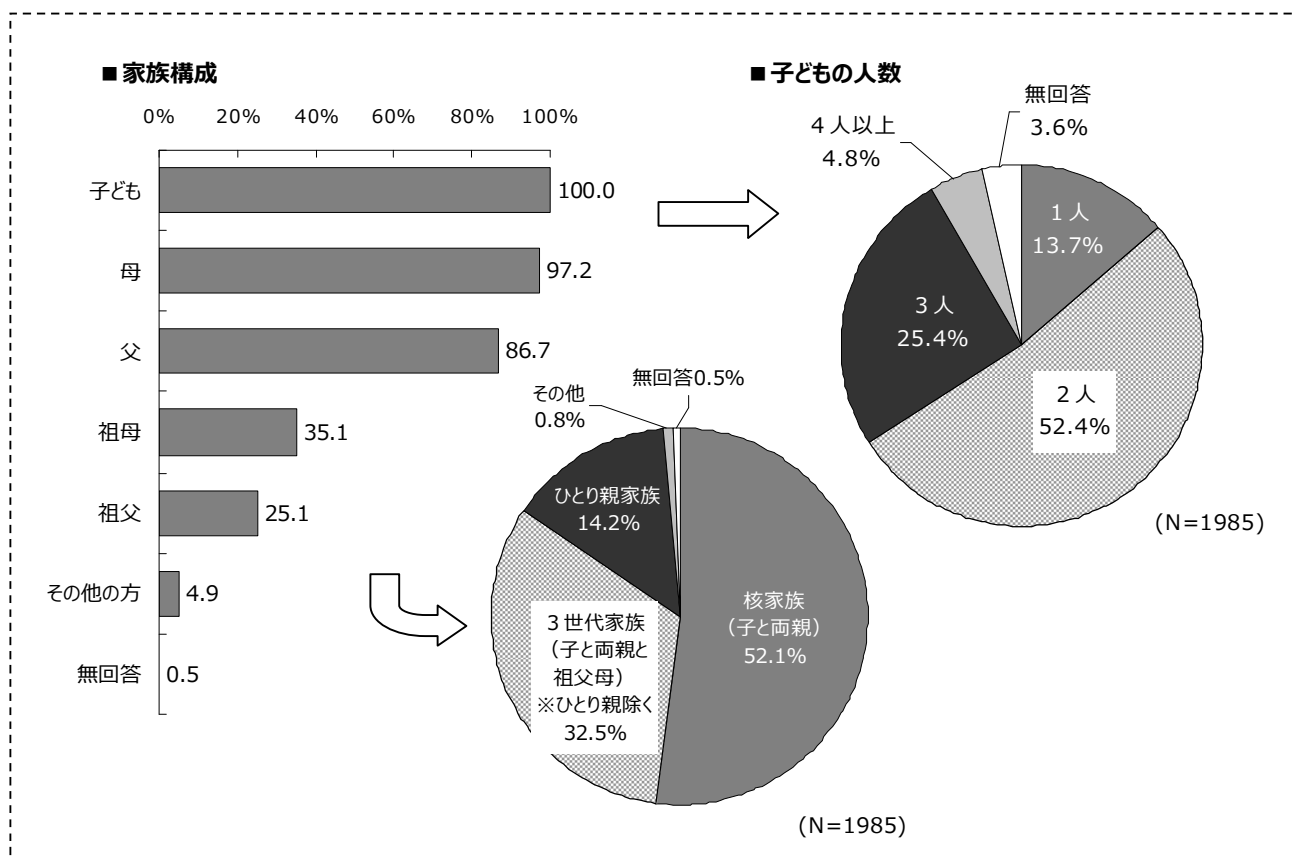
問2 回答者の現在の年齢についてお答えください。(○は1つ)

回答者の年齢では、「40～44歳」が45.8%と最も多く、次いで「45～49歳」24.8%、「35～39歳」19.6%となっており、「35～49歳」で全体の9割を占めている。以下、「50歳以上」6.9%、「30～34歳」2.5%、「29歳以下」0.3%の順となっている。

■ 回答者年齢



問3 家族(同居)の構成員をすべて選んでください(回答者を含む)。(○はあてはまるものすべて)

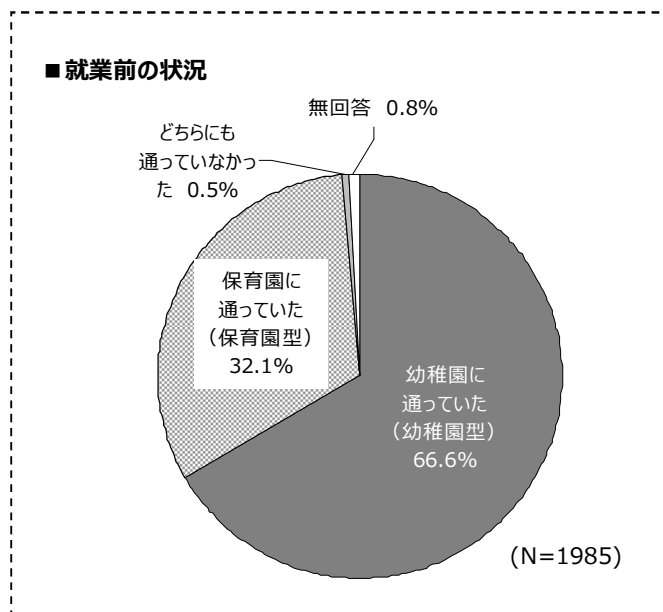


同居の構成員については、「母」97.2%、「父」86.7%となっている。回答内容より「核家族(子と両親)」「3世代家族(子と両親と祖父母)※ひとり親除く」「ひとり親家族」「その他」に分類したところ、「核家族」が52.1%と半数を占め、次いで「3世代家族」32.5%、「ひとり親家族」14.2%となっている。

子どもの人数をみると、「2人」が52.4%で半数を占め、「3人」(25.4%)、「4人以上」(4.8%)と合わせた「兄弟姉妹あり」の割合は82.7%。「1人」は13.7%となっている。

問4 お子様は、幼稚園または保育園に通っていましたか。
幼稚園(こども園)の場合は、実態に近い型の方をお答えください。(〇は1つ)

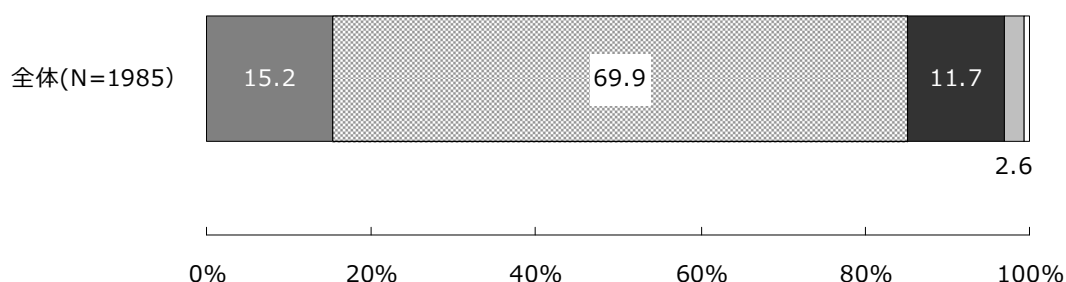
就学前の状況についてみると、「幼稚園に通っていた(幼稚園型)」が 66.6%と多数派で、「保育園に通っていた(保育園型)」は 32.1%。「どちらも通ってなかった」は 0.5%となっている。



問5 住んでいる地域について、最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

■ 住んでいる地域 (単一回答)

- 住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域
- ▨ 住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域
- 近所のつながりがあり、地域の行事への取り組みも低調な地域
- ▨ 近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域
- 無回答



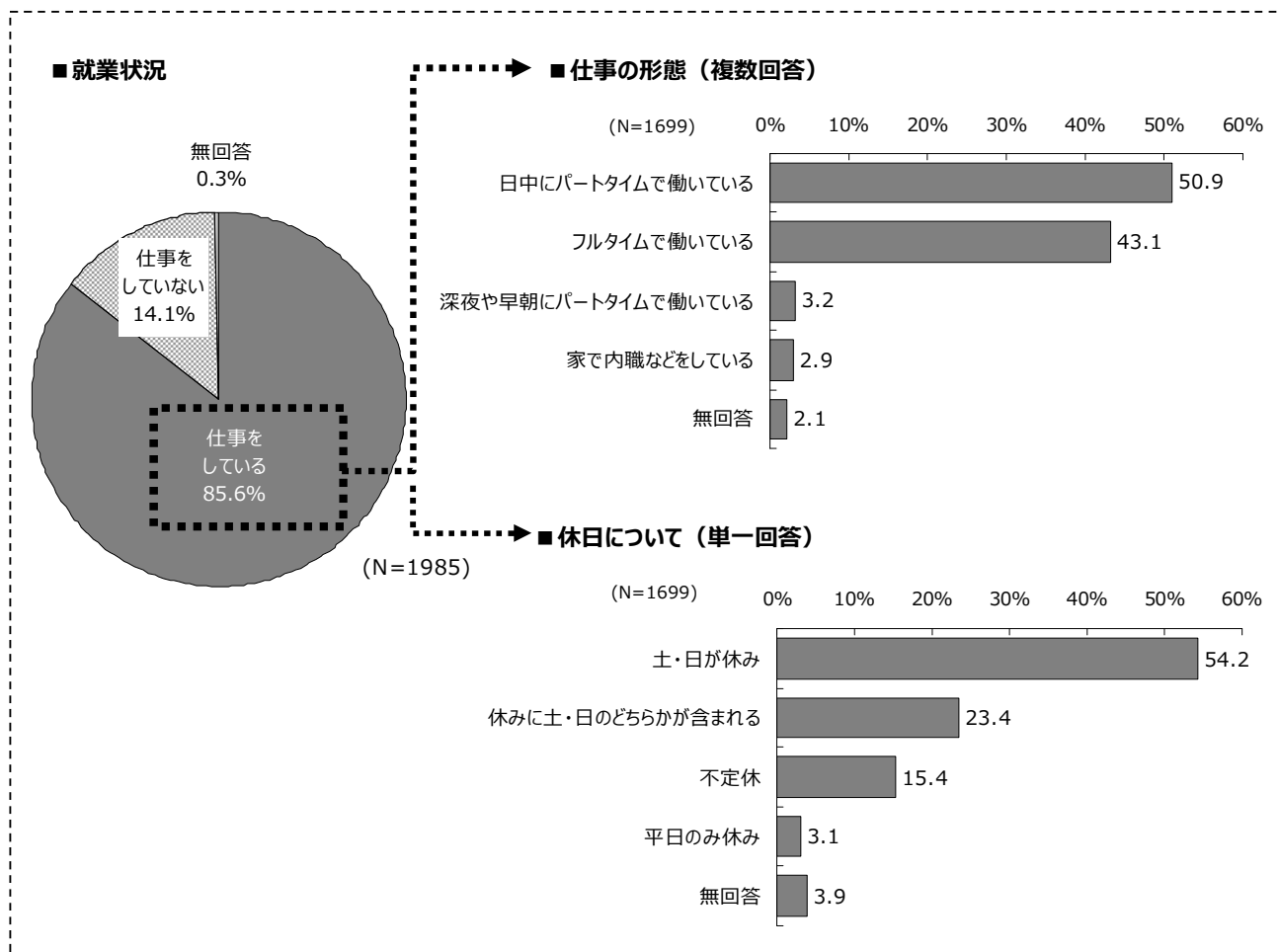
住んでいる地域について、住民同士のつながりの度合いにより4段階に分け、最も近いものを選んでもらったところ、「住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域」が 69.9%と最も多く、次いで「住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域」が 15.2%となっており、住民同士のつながりのある地域に住んでいる人が 85.1%と大半を占めている。一方、「近所のつながりがあり、地域の行事への取り組みも低調な地域」が 11.7%、「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」は 2.6%で、住民同士のつながりが希薄な地域に住んでいる人は少数派となっている。

問 6 あなたの就業状態はどのようなですか。(○は1つ)

(問 6 で「1 仕事をしている」と答えた方)

問6-1 仕事の状況はどのようなですか。(○はあてはまるものをすべて)

問6-2 仕事の休みはいつですか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

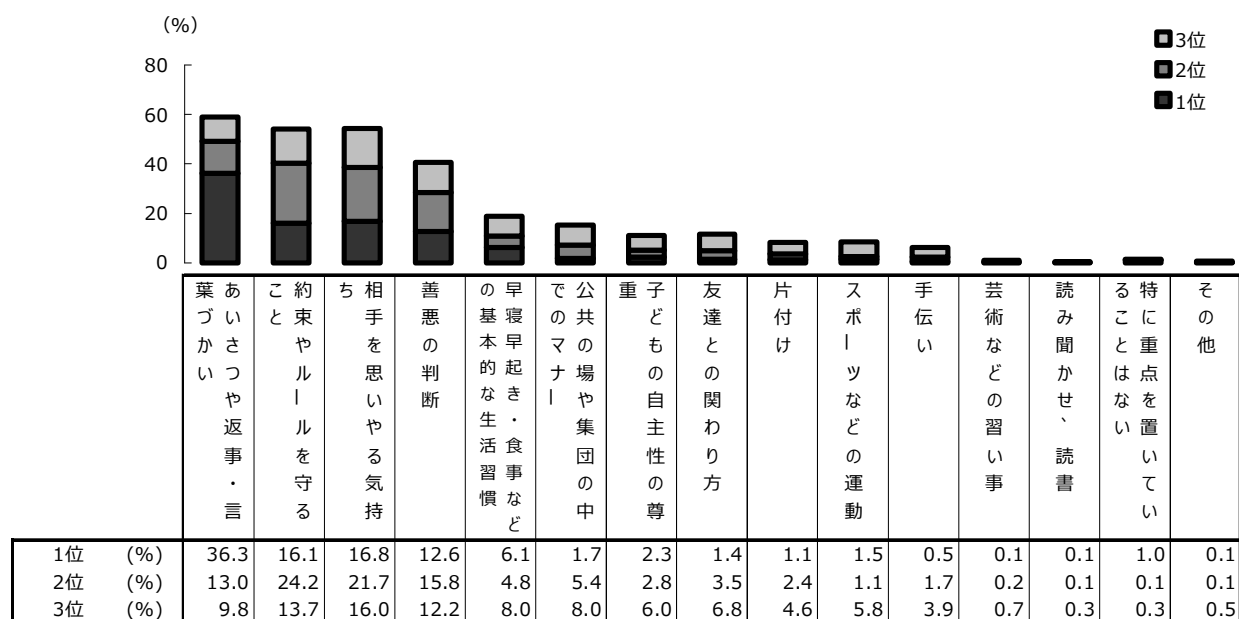
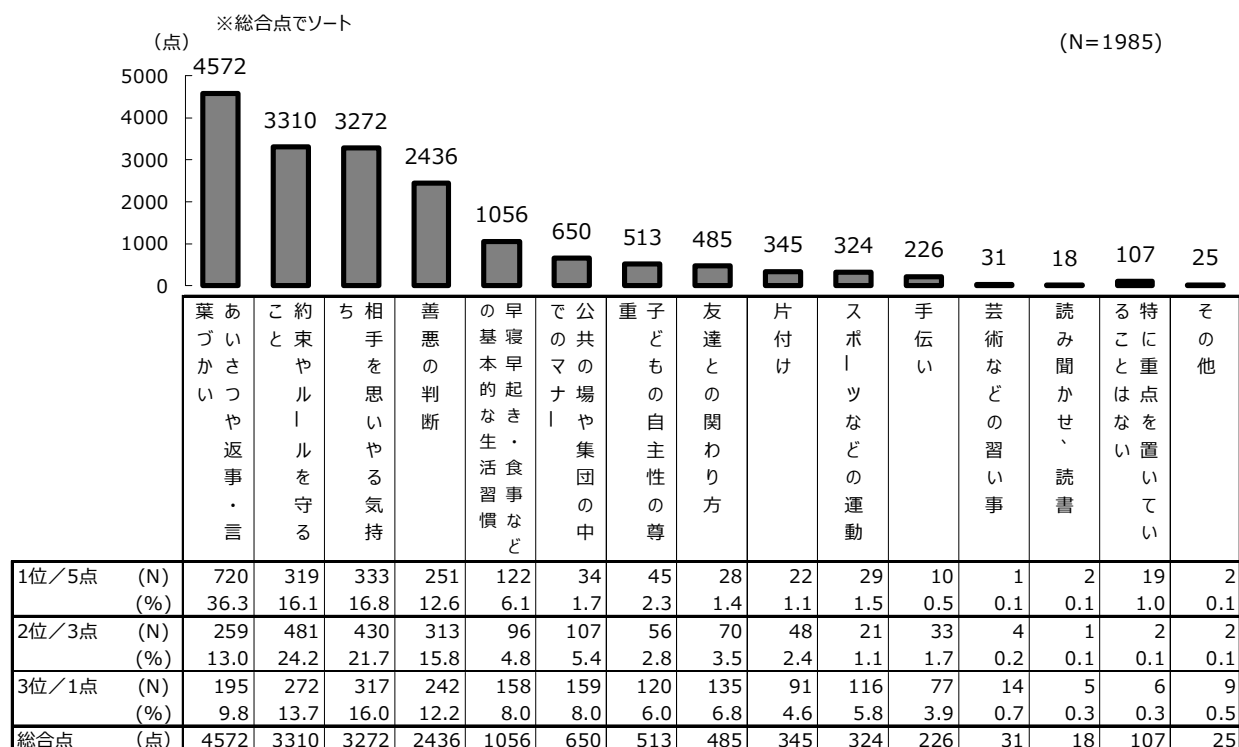


回答者の就業状態については、「仕事をしている」が85.6%、「仕事をしていない」が14.1%となっている。

さらに「仕事をしている」と回答した人に対し、仕事の形態および休みの状況をたずねた。仕事の形態としては、回答者の9割を女性が占めていることから、「日中パートタイムで働いている」が50.9%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が43.1%となっている。休日については、「土・日休み」が54.2%と最も多く、「休みに土・日のどちらかが含まれる」23.4%、「不定休」15.4%、「平日のみ休み」3.1%と続く。

問7 お子様への家庭教育(しつけ等)の中で、特に力を入れていること上位三つをお答えください。

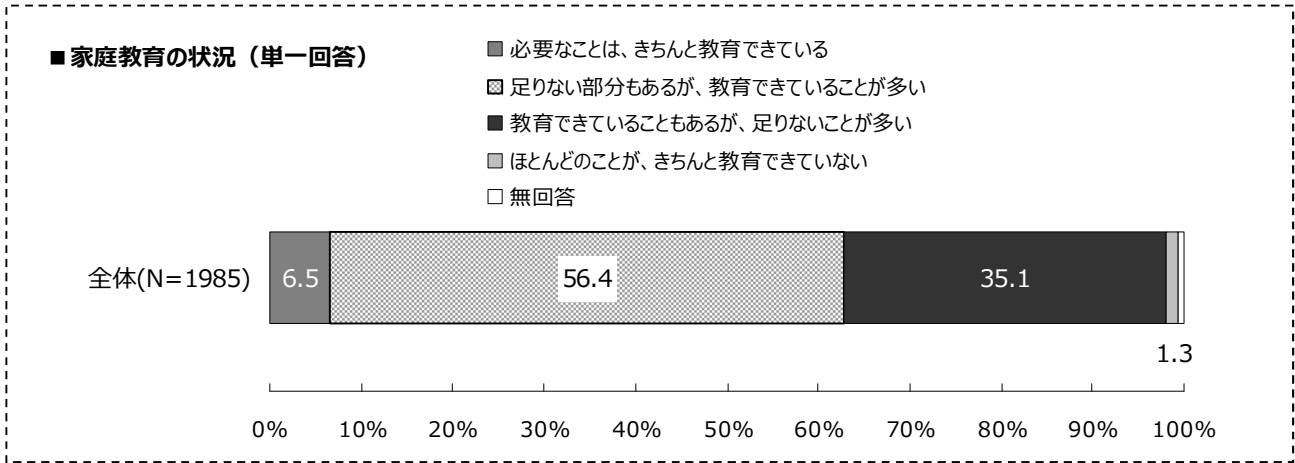
■家庭教育で力を入れていること(上位三つ)



家庭教育(しつけ等)の中で、特に力を入れていることについて、1位から3位までの順位づけを求めた。1位を5点、2位を3点、3位を1点とし、実数(N数)に各得点を掛け合わせ、項目ごとに総合得点を算出したところ、「あいさつや返事・言葉づかい」「約束やルールを守ること」「相手を思いやる気持ち」「善悪の判断」の4項目が特に高いレベルとなっている。

ちなみに1位の項目として最も多かったのは「あいさつや返事・言葉づかい」の36.3%であった。

問 8 お子様への家庭教育(しつけ等)の状況について、ご自分ではどのように思っていますか。最も近いものを選んでください。(〇は1つ)



家庭教育(しつけ等)の状況についての自己評価を求めたところ、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」との回答が 56.4%と半数以上を占め、「必要なことは、きちんと教育できている」の 6.5%と合わせると、教育できていると評価している人が約 6 割を占めている。一方、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」は 35.1%、「ほとんどのことが、きちんと教育できていない」1.3%と、不足を感じている人の割合は 36.4%となっている。

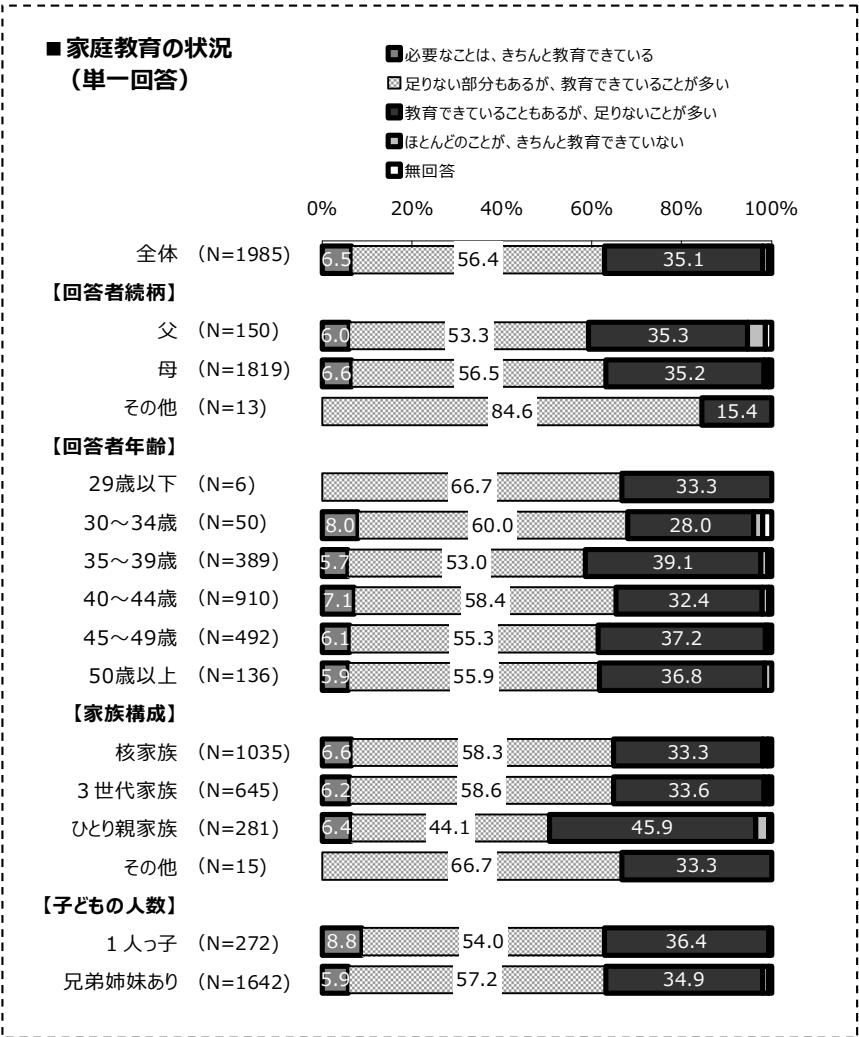
< 属性別 >

回答者続柄別では、「父」と「母」で家庭教育の状況に対する自己評価に大きな差はみられない。

回答者年齢別については、「35～39 歳」において「教育できていることもあるが、足りないことが多い」の割合が他の年代と比較してやや高めとなっているが、年代間で大きな差はみられない。

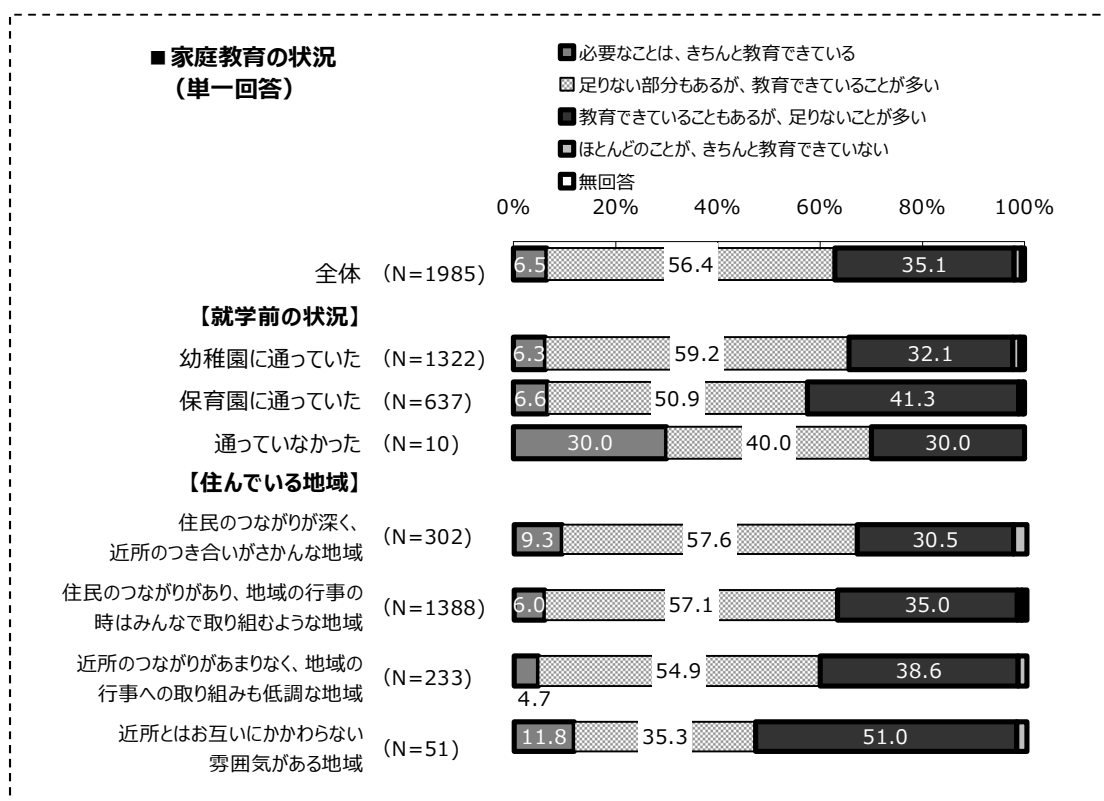
家族構成別についてみると、「ひとり親家族」において、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」が 45.9%と、「核家族」「3 世代家族」と比較して10ポイント以上高くなっている。

子どもの人数別では、「1人っ子」と「兄弟姉妹あり」では大きな差はみられない。



就学前の状況別でみると、「保育園に通っていた」との回答者において「教育できていることもあるが、足りないことが多い」と回答した割合が 41.3%と、「幼稚園に通っていた」との回答者と比べ、9 ポイントほど高い数値となっており、「幼稚園組」と比べて「保育園組」では、自己評価を低くみる人の割合がやや高い傾向にある。

住んでいる地域別でみると、住民同士のつながりが薄くなる地域ほど、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」の数値が高くなっており、「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」と回答した人に至っては 51.0%にのぼる。一方、「住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域」の人においては、この割合は 30.5%と低くなっている。



問 9 お子様とのかかわりの中で、お子様をほめることはありますか。(〇は1つ)

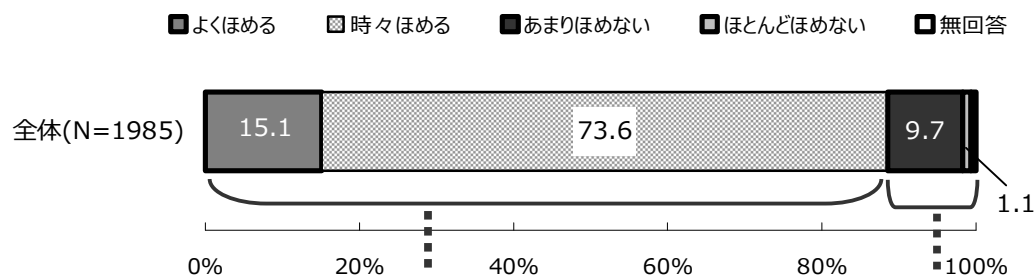
(問 9 で「1 よくほめる」「2 時々ほめる」と答えた方)

問 9-1 ほめることについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

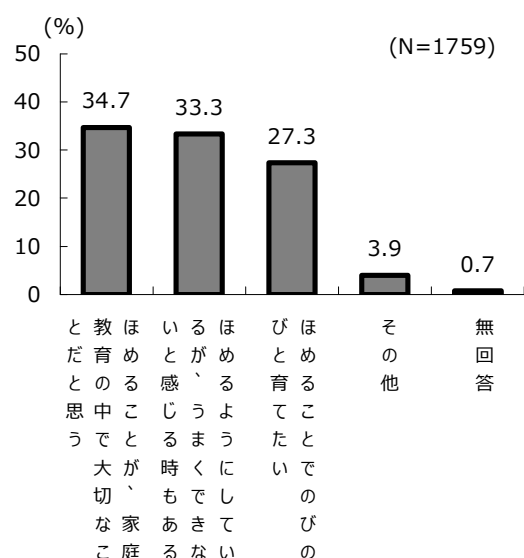
(問 9 で「3 あまりほめない」「4 ほとんどほめない」と答えた方)

問 9-2 ほめないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

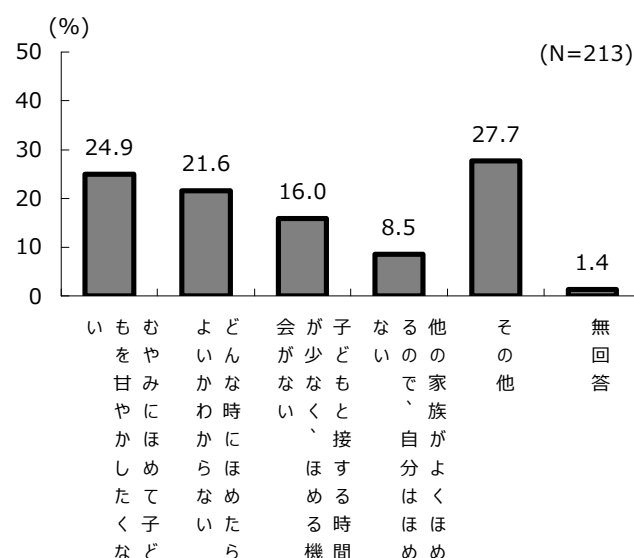
■ ほめる頻度 (単一回答)



■ ほめることへの思い (単一回答)



■ ほめないことへの思い (単一回答)



子どもをほめる頻度についてたずねたところ、「時々ほめる」が73.6%と最も多く、次いで「よくほめる」が15.1%となっている。一方、「あまりほめない」は9.7%、「ほとんどほめない」1.1%で、ほめない人は少数派である。

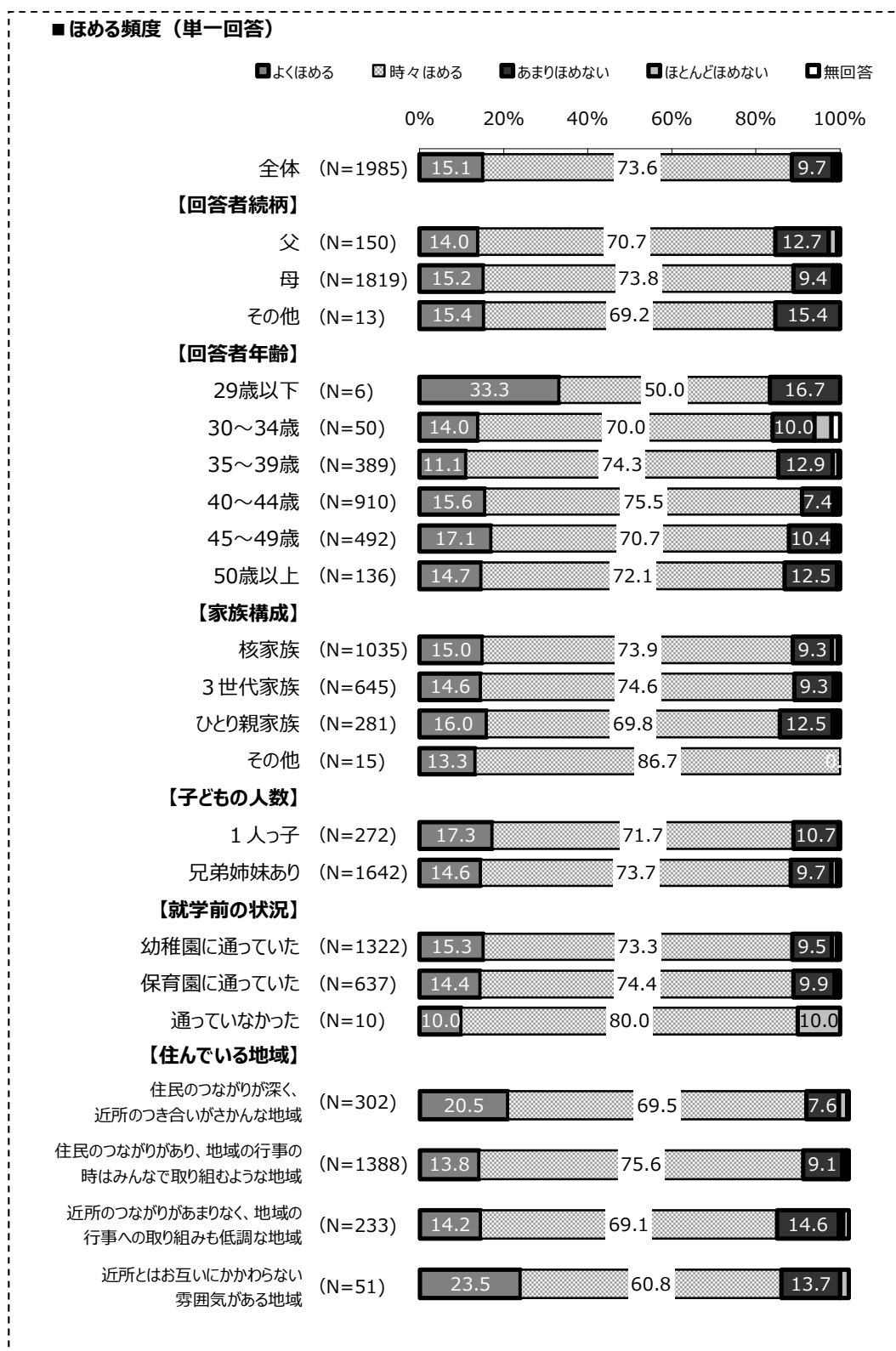
「よくほめる」「時々ほめる」と回答した人に、ほめることへの思いをたずねたところ、「ほめることが、家庭教育の中で大切なことだと思う」が34.7%と最も多く、次いで「ほめるようにしているが、うまくできないと感じる時もある」が33.3%、「ほめることでのびのびと育てたい」27.3%となっている。

一方、「あまりほめない」「ほとんどほめない」と回答した人の、ほめないことへの思いをたずねたところ、「むやみにほめて子どもを甘やかしたくない」が24.9%でトップ。次いで「どんな時にほめたらよいかわからない」21.6%、「子どもと接する時間が少なく、ほめる機会がない」16.0%、「他の家族がよくほめるので、自分はほめない」8.5%と続く。「その他」(27.7%)の回答で多かったのは、「ほめること・要素がみあたらない」「悪いことばかり目に付く」など。少数意見としては「ほめるのがはずかしい・照れくさい」「ほめると調子にのる」「ほめても喜ばない」「小さい子ではないので…」などが挙げられた。

<属性別>

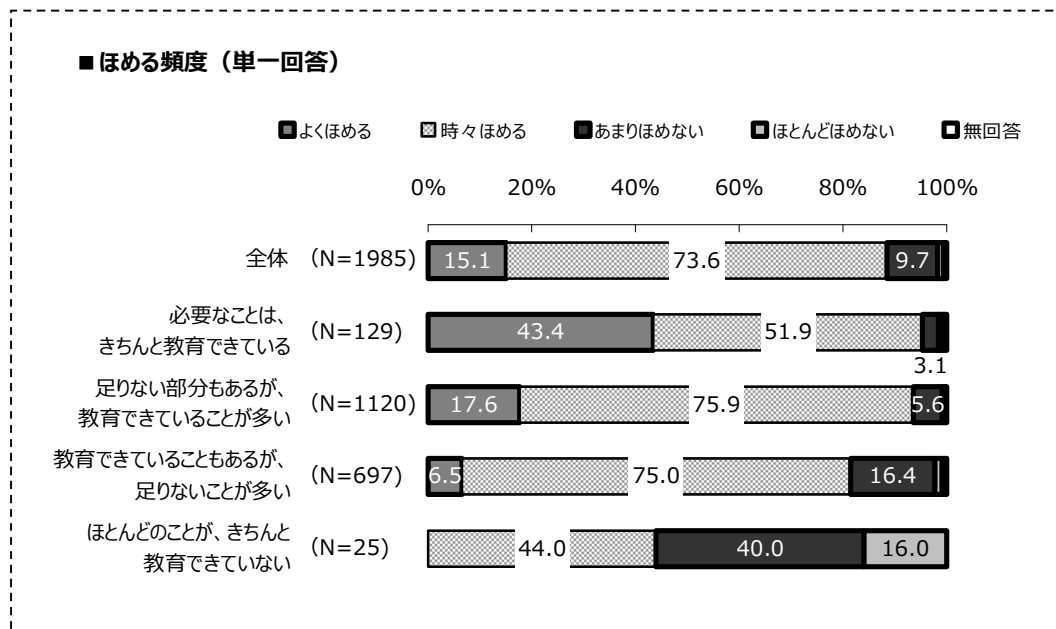
ほめる頻度について、回答者続柄別、回答者年齢別、家族構成別、子どもの人数別、就学前の状況別のいずれでみても、各属性間でとりたてて大きな差はみられない。

住んでいる地域別では、「近所のつながりがあまりなく、地域の行事への取り組みも低調な地域」「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」など住民同士のつながりが薄い地域の人たちにおいて、「あまりほめない」の割合がやや高めとなっている。



<Q8 家庭教育(しつけ等)の状況別>

家庭教育(しつけ等)の状況別でみると、「よくほめる」と回答した人の割合は、「必要なことは、きちんと教育できる」で 43.4%、「足りない部分もあるが教育できていることが多い」17.6%、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」6.5%となっており、家庭教育に対する自己評価が高い人ほど「よくほめる」割合が顕著に高くなっている。



問 10 お子様とのかかわりの中で、お子様をしかることはありますか。(〇は1つ)

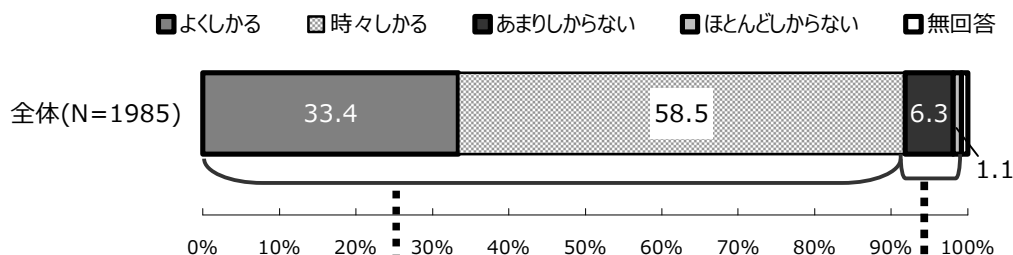
(問 10 で「1 よくしかる」「2 時々しかる」と答えた方)

問 10-1 しかることにどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

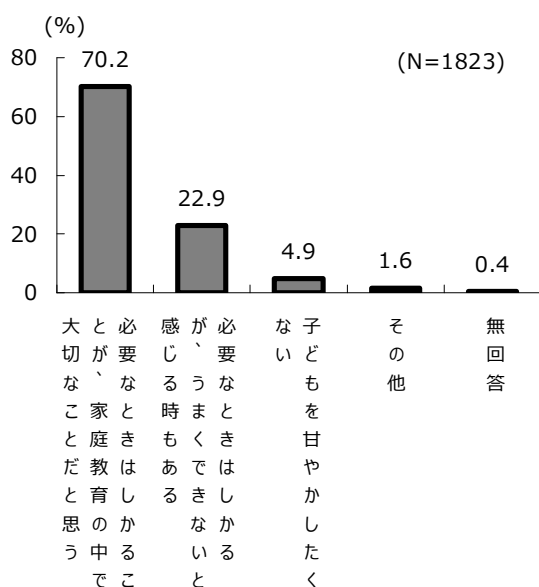
(問 10 で「3 あまりしからない」「4 ほとんどしからない」と答えた方)

問 10-2 しからないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

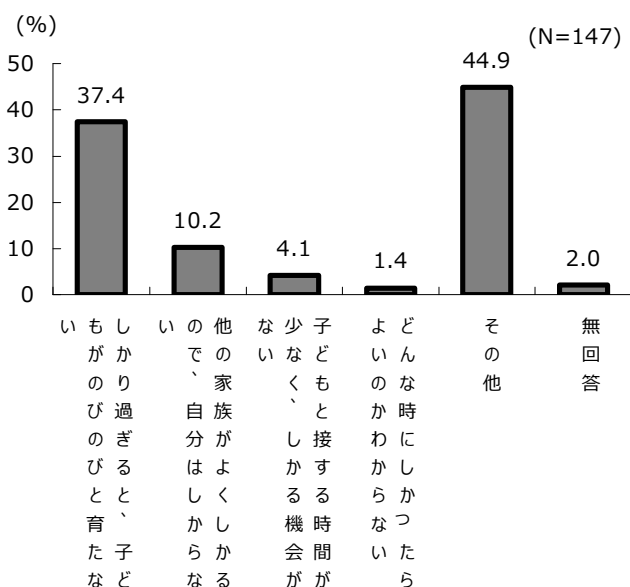
■しかる頻度 (単一回答)



■しかることへの思い (単一回答)



■しからないことへの思い (単一回答)



子どもをしかる頻度についてたずねたところ、「時々しかる」が 58.5%と最も多く、次いで「よくしかる」33.4%となっている。一方、「あまりしからない」は 6.3%、「ほとんどしからない」1.1%となっており、しからない人は少数派である。

「よくしかる」「時々しかる」と回答した人に、しかることへの思いをたずねたところ、「必要なときはしかることが、家庭教育の中で大切なことだと思う」が 70.2%で圧倒的多数となっている。次いで「必要なときはしかるが、うまくできないと感じる時もある」が 22.9%、「子どもを甘やかしたくない」4.9%となっている。

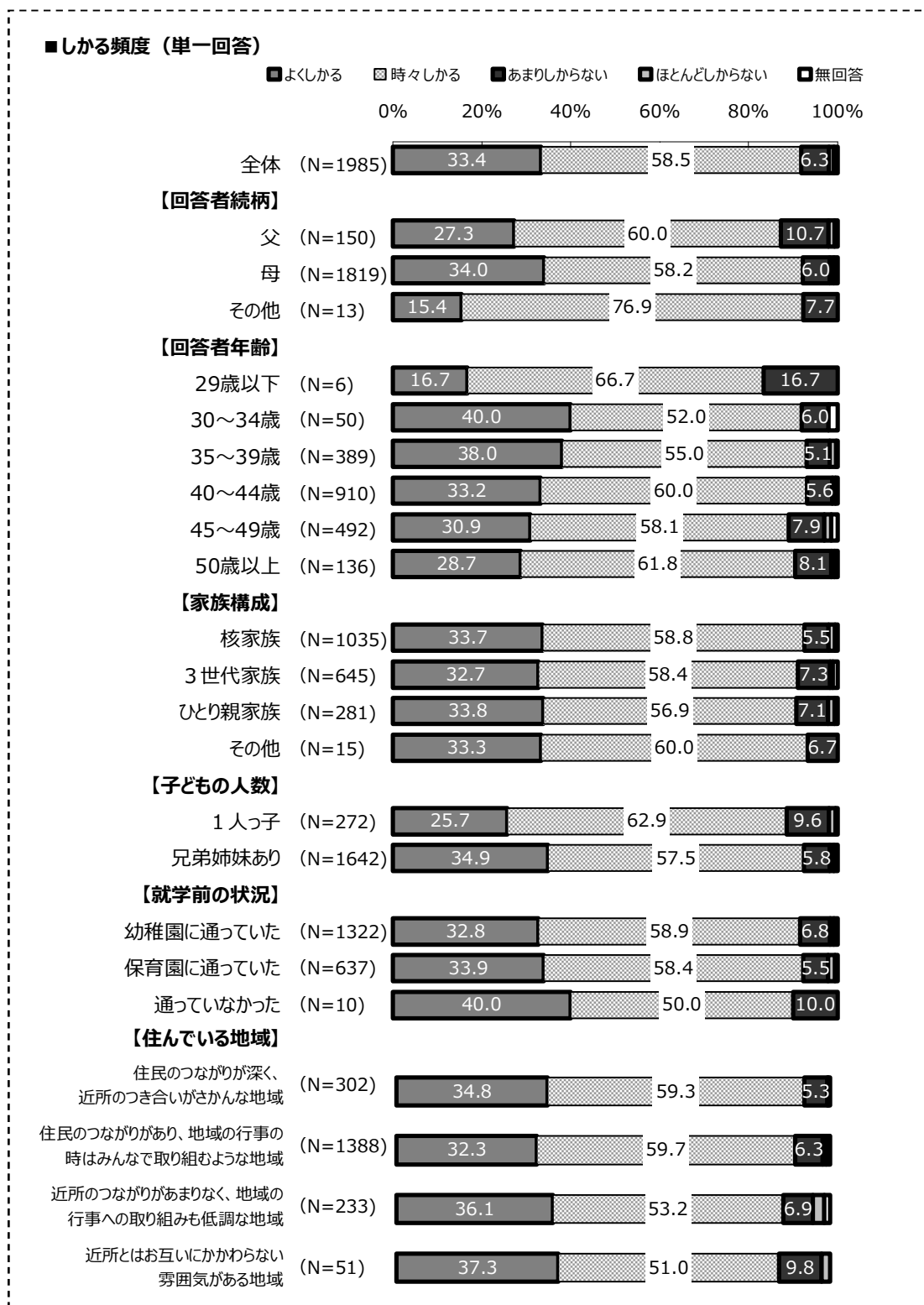
一方、「あまりしからない」「ほとんどしからない」と回答した人の、しからないことへの思いをたずねたところ、「しかり過ぎると、子どもがのびのびと育たない」が 37.4%で突出しており、「他の家族がよしくるので、自分はいしからない」10.2%、「子どもと接する時間が少なく、しかる機会がない」4.1%、「どんな時にしかつたらよいかかわからない」1.4%と続く。「その他」(44.9%)では「感情的になってしまう」との声が複数挙げられた。

<属性別>

しかる頻度について、回答者続柄別でみると「よくしかる」は「父」が 27.3%、「母」34.0%で、「母」がやや高い数値となっている。

回答者年齢別では、「よくしかる」と回答した割合が年齢を追うごとに低くなっており、若い保護者ほどよくしかっている傾向が見受けられる。

子どもの人数別では、「よくしかる」が「1人っ子」25.7%、「兄弟姉妹あり」34.9%で、兄弟姉妹がいる家庭のほうがしかる機会が多い様子が見えらる。

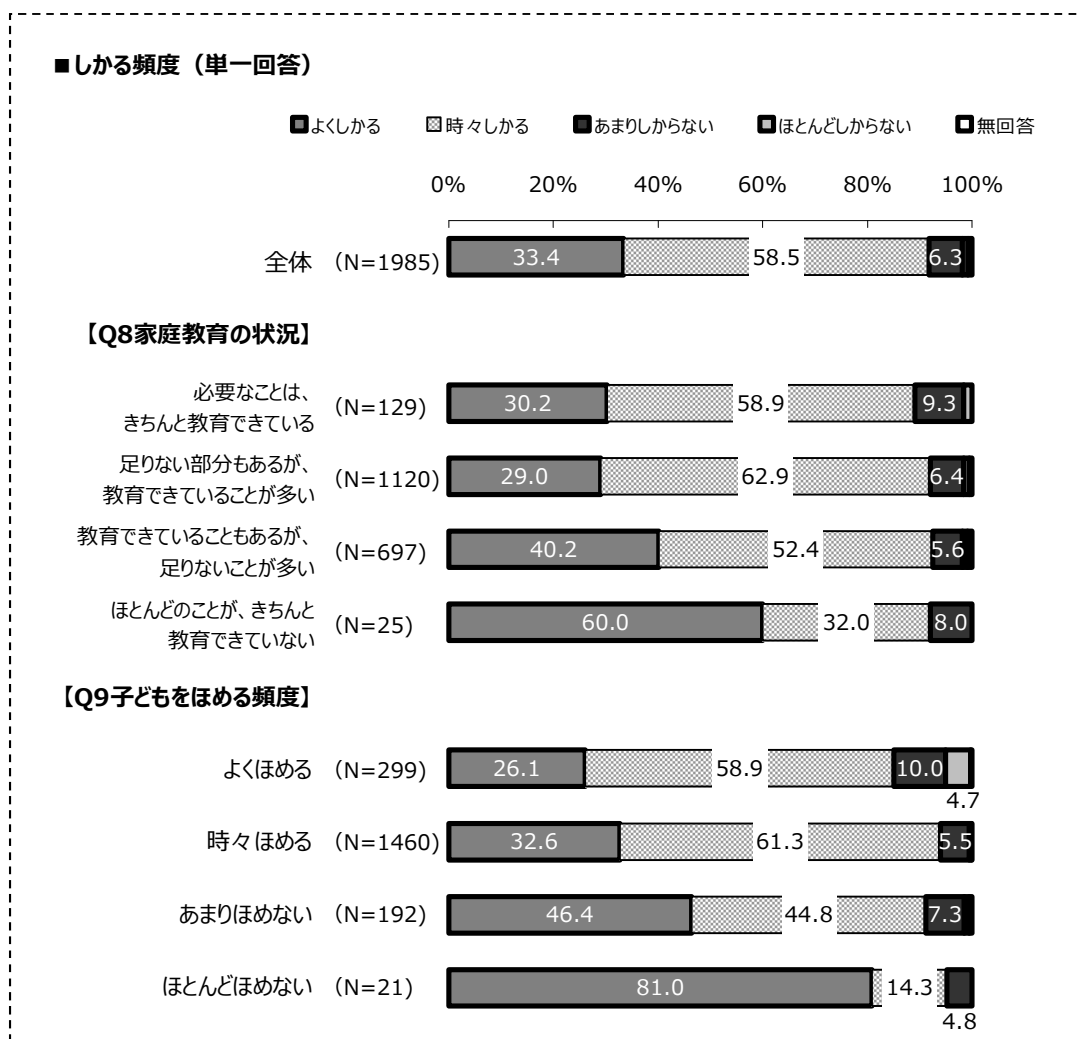


<Q8 家庭教育(しつけ等)の状況別>

家庭教育(しつけ等)の状況別でみると、「よくしかる」と回答した人の割合は、「必要なことは、きちんと教育できる」で30.2%、「足りない部分もあるが教育できていることが多い」29.0%、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」40.2%、「ほとんどのことが、きちんと教育できていない」60.0%となっており、家庭教育に対する自己評価が低い人ほど「よくしかる」割合が顕著に高くなっている。

<Q9 子どもをほめる頻度別>

子どもをほめる頻度別では、「よくしかる」の割合は、「よくほめる」と回答した人で26.1%、「時々ほめる」人で32.6%、「あまりほめない」人で46.4%、「ほとんどほめない」で81.0%となっており、ほめる頻度の低い人ほど「よくしかる」人が多くなる傾向。

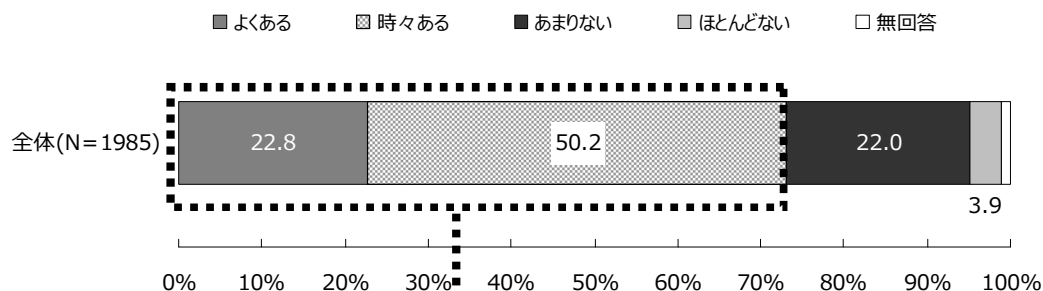


問 11 子育ての中で、悩んだり、不安になったりすることがありますか。

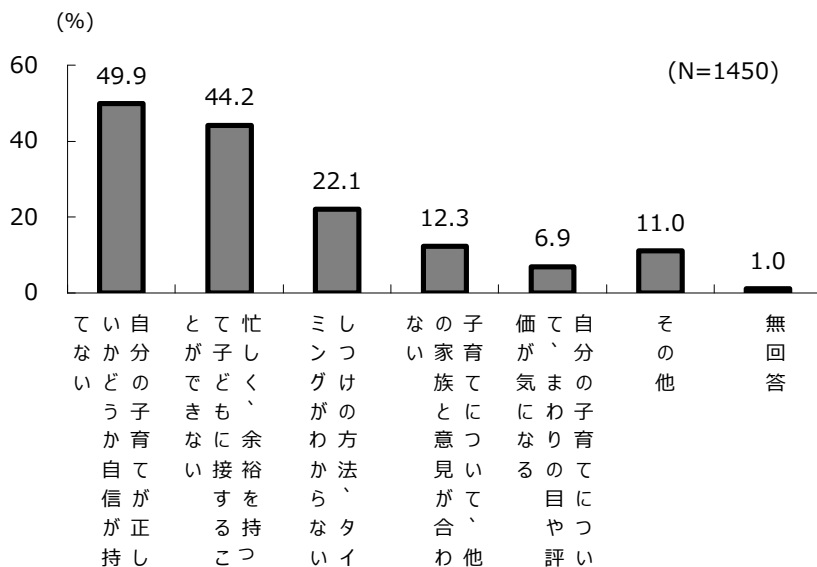
(問 11 で「1 よくある」「2 時々ある」と答えた方)

問 11-1 悩んだり、不安になったりすることは、どんなことですか。(〇はあてはまるものすべて)

■子育て中の悩み・不安について (単一回答)



■悩み・不安の内容 (複数回答)



子育て中の悩み・不安についてその頻度をたずねたところ、「時々ある」が 50.2%と半数を占めている。「よくある」の 22.8%を合わせると、約 7 割が何らかの悩み・不安を抱えている。

「よくある」「時々ある」と回答した人に対して、悩み・不安の内容を複数回答で求めたところ、「自分の子育てが正しいかどうか自信がもてない」が 49.9%と最も多く、次いで「忙しくて子どもに接することができない」44.2%、「しつけの方法、タイミングがわからない」22.1%、「子育てについて、他の家族と意見が合わない」12.3%、「自分の子育てについて、まわりの目や評価が気になる」6.9%と続く。

<子育て中の悩み・不安について／属性別>

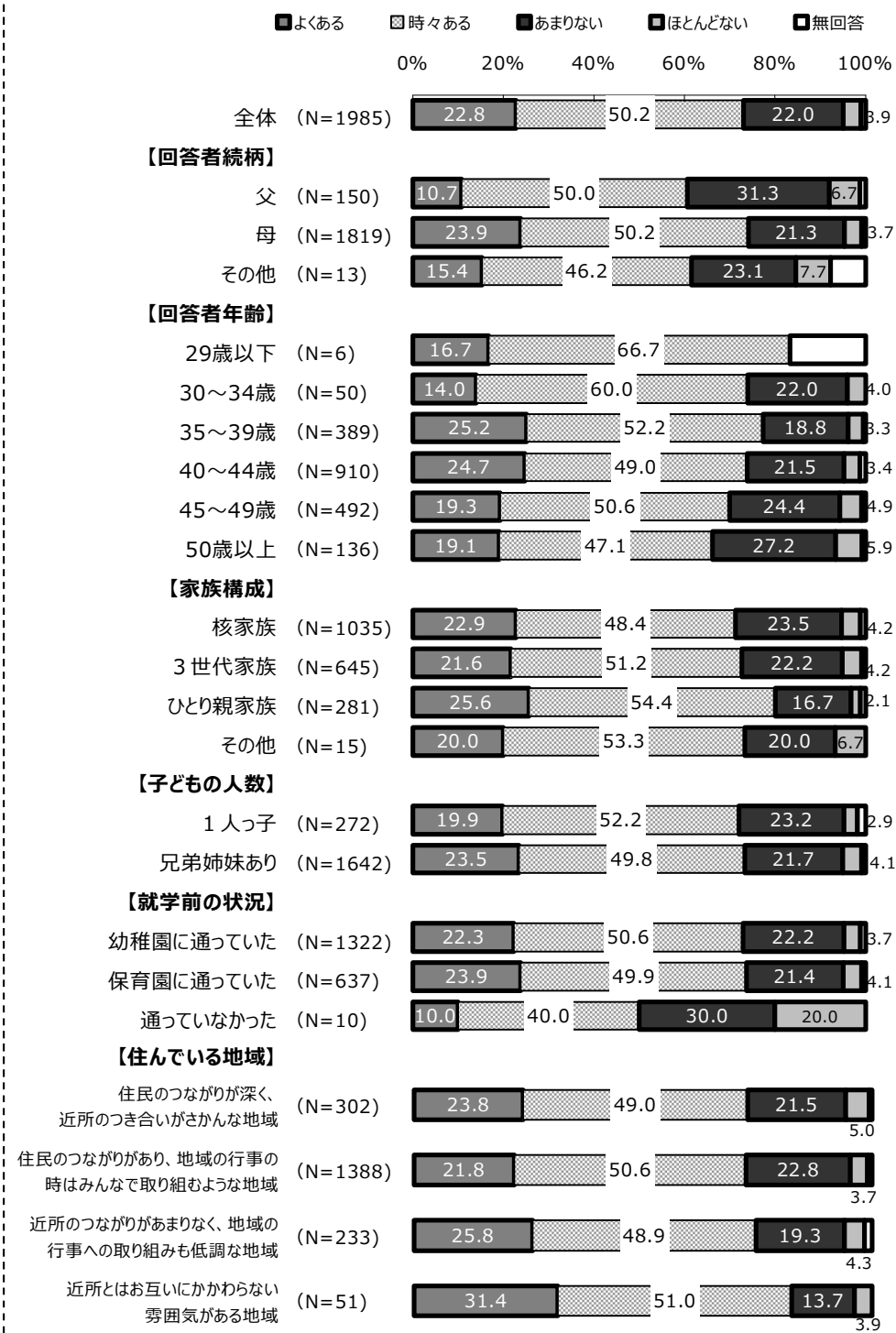
子育て中の悩み・不安について、回答者続柄別でみると「よくある」と回答した人の割合は「父」10.7%、「母」23.9%、「時々ある」が「父」50.0%、「母」50.2%で、悩み・不安をかかえる割合は母親の方が高くなっている。

回答者年齢別では、「よくある」と回答した人は「35～39歳」25.2%、「40～44歳」24.7%、「45～49歳」19.3%、「50歳以上」19.1%と、35～44歳の若い層ほど高い数値となっている。一方で、「あまりない」の割合をみると、年齢が高くなるにつれて高くなっている。

家族構成別では「ひとり親家族」で「よくある」が25.6%と高めの数値となっている。

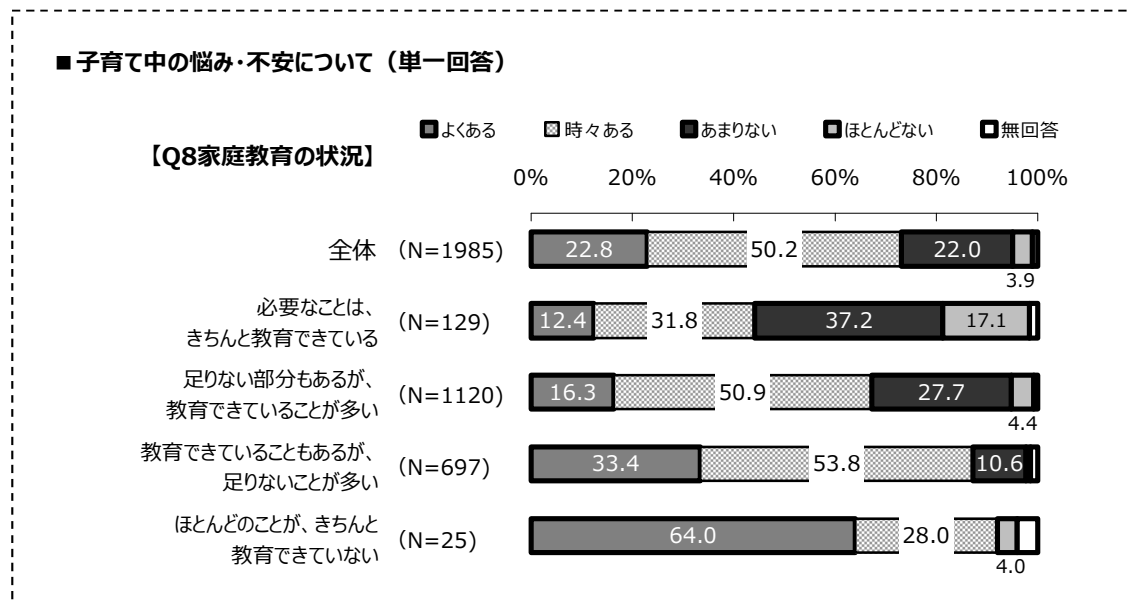
住んでいる地域別では、「よくある」と回答した人は、「住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域」で23.8%、「住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域」21.8%、「近所のつながりがあまりなく、地域の行事への取り組みも低調な地域」25.8%、「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」31.4%となっており、住民とのつながりが希薄なほどその割合が高い傾向がうかがえる。

■子育て中の悩み・不安について（単一回答）



<子育て中の悩み・不安について/Q8 家庭教育(しつけ等)の状況別>

家庭教育(しつけ等)の状況別でみると、子育て中の悩み・不安について「よくある」と回答した人は、「必要なことはきちんと教育できている」人で 12.4%、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」16.3%、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」33.4%、「ほとんどのことが、きちんと教育できていない」64.0%で、家庭教育に対する自己評価が低い人ほど、悩み・不安をかかえる割合が顕著に高くなっている。



<悩み・不安の内容／属性別>

悩み・不安の内容について回答者続柄別でみると、「父」では「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」が45.1%でトップ、「母」では「自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない」が50.9%でトップ。

回答者年齢別では、「自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない」と回答した割合が、「35～39歳」54.8%、「40～44歳」50.2%、「45～49歳」47.1%、「50歳以上」46.7%と、若い層ほど高くなっている。また、「しつけの方法、タイミングがわからない」についても若い層ほど悩みを持つ人の割合が高い傾向がみられる。

家族構成別では特に「ひとり親家族」において、「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」が55.1%と高い数値となっていることは特筆すべき点として挙げられる。

就学前の状況別については、「保育園に通っていた」において「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」が53.8%で、「幼稚園に通っていた」(39.4%)と比較して14.4ポイント高くなっている。

住んでいる地域別では、「近所のつながりがあり、地域の行事への取り組みも低調な地域」の人において「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」が50.6%と高めである。また、「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」の人では、「子育てについて、他の家族と意見が合わない」が21.4%と高くなっている。

■悩み・不安の内容（複数回答）

(単位：% カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	う自分信子が育てが正しいしいかど	も忙しに接す、余裕を持ってが正しいしいかど	がしわつけの仕方、タイミング	と子育ての意見が合わない、他の家族	わ自分の目や育てについて気がなるま	その他	無回答
全体 (1450)	49.9	44.2	22.1	12.3	6.9	11.0	1.0
【回答者続柄】							
父 (91)	37.4	45.1	28.6	8.8	0.0	7.7	0.0
母 (1348)	50.9	44.4	21.8	12.7	7.4	11.1	0.9
その他 (8)	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
【回答者年齢】							
29歳以下 (5)	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
30～34歳 (37)	40.5	40.5	29.7	8.1	5.4	10.8	5.4
35～39歳 (301)	54.8	44.5	24.3	11.6	10.0	6.3	0.7
40～44歳 (671)	50.2	45.5	21.3	12.2	7.5	12.7	0.7
45～49歳 (344)	47.1	42.7	22.7	14.0	4.7	11.6	0.9
50歳以上 (90)	46.7	42.2	17.8	12.2	2.2	10.0	2.2
【家族構成】							
核家族 (738)	51.5	40.4	22.1	13.6	7.2	13.0	1.1
3世代家族 (469)	49.9	45.4	23.5	14.1	7.0	8.1	0.2
ひとり親家族 (225)	46.2	55.1	19.6	5.3	5.8	10.2	1.3
その他 (11)	27.3	36.4	27.3	0.0	9.1	18.2	9.1
【子どもの人数】							
1人っ子 (196)	46.9	39.8	24.0	13.3	4.1	11.7	0.0
兄弟姉妹あり (1203)	51.0	44.9	21.6	12.4	7.5	10.9	1.1
【就学前の状況】							
幼稚園に通っていた (964)	51.0	39.4	22.5	13.1	6.8	11.1	1.1
保育園に通っていた (470)	48.1	53.8	21.1	11.1	7.0	11.1	0.2
通っていなかった (5)	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
【住んでいる地域】							
住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域 (220)	49.1	38.2	23.6	13.6	5.9	10.5	1.8
住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域 (1006)	51.3	44.4	21.9	11.8	6.6	11.0	0.9
近所のつながりがあり、地域の行事への取り組みも低調な地域 (174)	42.5	50.6	23.0	11.5	9.2	10.9	0.6
近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域 (42)	50.0	47.6	19.0	21.4	2.4	11.9	0.0

問 12 子育てをしていくにあたり、あなたを手助けしてくれる人は誰ですか。(〇はあてはまるものすべて)

子育ての手助けをしてくれる人についてたずねたところ、「配偶者」が 66.7%で最も多く、次いで「別居の祖父母」35.1%、「同居の祖父母」24.3%、「兄弟の中で、年長の子供」18.5%となっている。「特にない」は 6.9%。

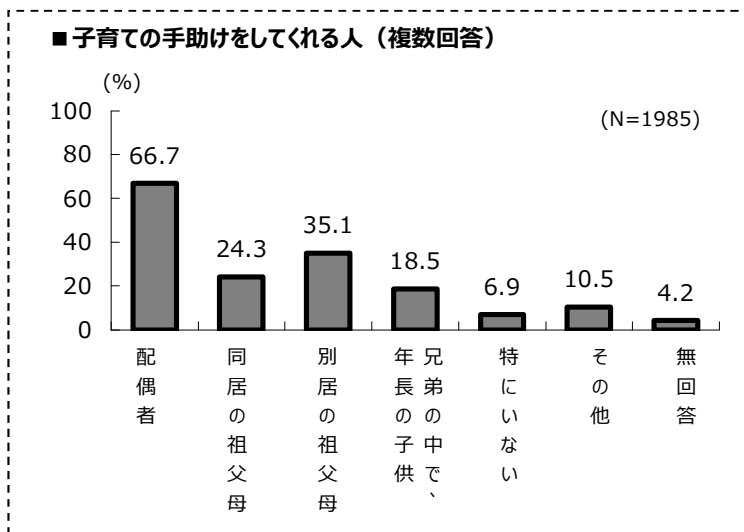
<属性別>

回答者続柄別でみると、「父」「母」のいずれも「配偶者」がトップとなっているが、2 番目については「父」が「同居の祖父母」であるのに対し、「母」は「別居の祖父母」となっている。

回答者年齢別では、いずれの年齢層も「配偶者」がトップ。年齢が若いほど、「別居の祖父母」「同居の祖父母」の割合が高くなっているが、年齢を追うごとに「兄弟の中で、年長の子供」の比重が高くなっている。

家族構成別では、「3 世代家族」において、「配偶者」が 76.4%でトップであるが、「同居の祖父母」も 57.1%と高い。「ひとり親家族」については、「同居の祖父母」が 32.4%で最も高くなっているが、「特にない」が 16.0%と高めの数値となっている。

住んでいる地域別についてみると、住民同士のつき合いが希薄な地域ほど、「配偶者」「同居の祖父母」「別居の祖父母」のいずれの数値も低くなる傾向にある。最もつき合いが薄い「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」の人に至っては、「特にない」が 27.5%と高い割合となっている。



(単位：% カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	配偶者	同居の祖父母	別居の祖父母	兄弟の中で、年長の子供	特にない	その他	無回答
全体 (1985)	66.7	24.3	35.1	18.5	6.9	10.5	4.2
【回答者続柄】							
父 (150)	60.7	22.7	13.3	12.0	10.0	4.7	4.7
母 (1819)	67.5	24.5	37.1	19.2	6.6	10.8	4.1
その他 (13)	38.5	15.4	7.7	0.0	7.7	38.5	23.1
【回答者年齢】							
29歳以下 (6)	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
30～34歳 (50)	46.0	30.0	32.0	12.0	4.0	10.0	4.0
35～39歳 (389)	64.8	22.6	45.0	11.6	6.9	10.0	2.8
40～44歳 (910)	68.7	25.5	38.1	18.4	5.5	11.1	4.8
45～49歳 (492)	67.9	25.8	28.0	23.4	7.1	11.2	3.7
50歳以上 (136)	64.0	14.7	14.7	25.7	14.0	4.4	6.6
【家族構成】							
核家族 (1035)	77.5	2.0	44.2	17.2	6.7	10.0	3.8
3世代家族 (645)	76.4	57.1	22.0	21.7	3.4	8.1	4.3
ひとり親家族 (281)	6.4	32.4	32.0	17.4	16.0	15.7	4.6
その他 (15)	53.3	13.3	26.7	0.0	0.0	46.7	13.3
【子どもの人数】							
1人っ子 (272)	54.0	25.7	30.9	5.1	11.8	10.3	5.5
兄弟姉妹あり (1642)	69.4	23.8	36.1	21.0	6.0	10.4	4.0
【就学前の状況】							
幼稚園に通っていた (1322)	69.7	24.7	35.0	19.5	6.4	10.4	4.1
保育園に通っていた (637)	60.4	24.0	35.6	16.6	7.7	10.4	4.4
通っていなかった (10)	70.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0
【住んでいる地域】							
住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域 (302)	70.2	41.7	37.1	19.9	4.0	13.6	3.6
住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域 (1388)	68.2	23.4	35.4	18.9	6.7	10.0	4.0
近所のつながりがあり、地域の行事への取り組みも低調な地域 (233)	62.7	11.6	34.8	15.0	6.9	9.0	3.9
近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域 (51)	31.4	7.8	19.6	17.6	27.5	11.8	7.8

問 13 子育てについて、家族以外で話を聞いてもらえる(ぐちを聞いてもらえる、ちょっとしたアドバイスをもらえるなど)人はいますか。(〇は1つ)

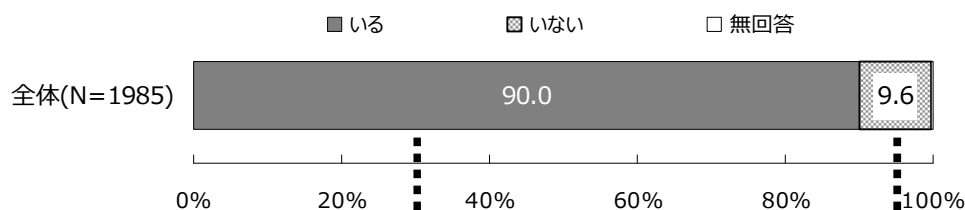
(問 13 で「1 いる」と答えた方)

問 13-1 その人はどのような人ですか。(〇はあてはまるものすべて)

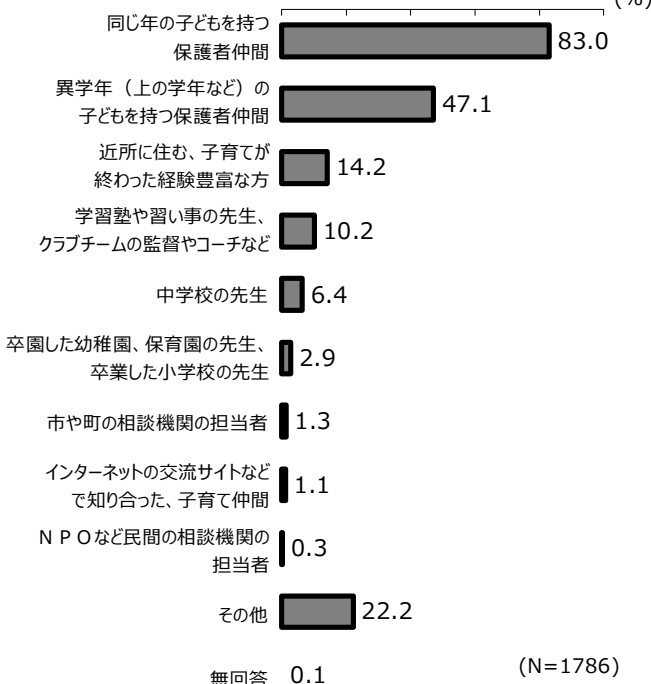
(問 13 で「2 いない」と答えた方)

問 13-2 それぞれいない理由として最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

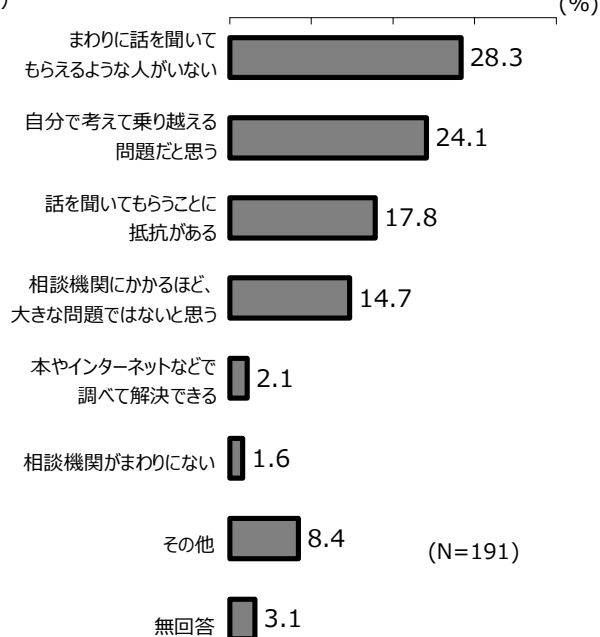
■ 家族以外で話を聞いてもらえる人の有無 (単一回答)



■ 話し相手となる人 (複数回答)



■ いない理由 (単一回答)



子育てについて、家族以外で話を聞いてもらえる存在の有無をたずねたところ、「いる」と回答した人が90.0%であった。

「いる」と回答した人に対し、どのような人であるか複数回答で求めたところ、トップは「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」で83.0%と高い数値となっている。次いで「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」47.1%、「近所に住む、子育てが終わった経験豊富な方」14.2%、「学習塾や習い事の先生、クラブチームの監督やコーチなど」10.2%と続く。「その他」の回答で多かったのは、「職場の同僚」「自分自身の友人」「自分自身の兄弟・姉妹」など。

「いない」と回答した人にその理由として最もあてはまるもの1つをたずねた。「まわりに話を聞いてもらえる人がいない」が28.3%で最も多く、次いで「自分で考えて乗り越える問題だと思う」24.1%、「話を聞いてもらうことに抵抗がある」17.8%、「相談機関にかかるほど、大きな問題ではないと思う」が14.7%と続く。

<家族以外で話を聞いてもらえる人の有無／属性別>

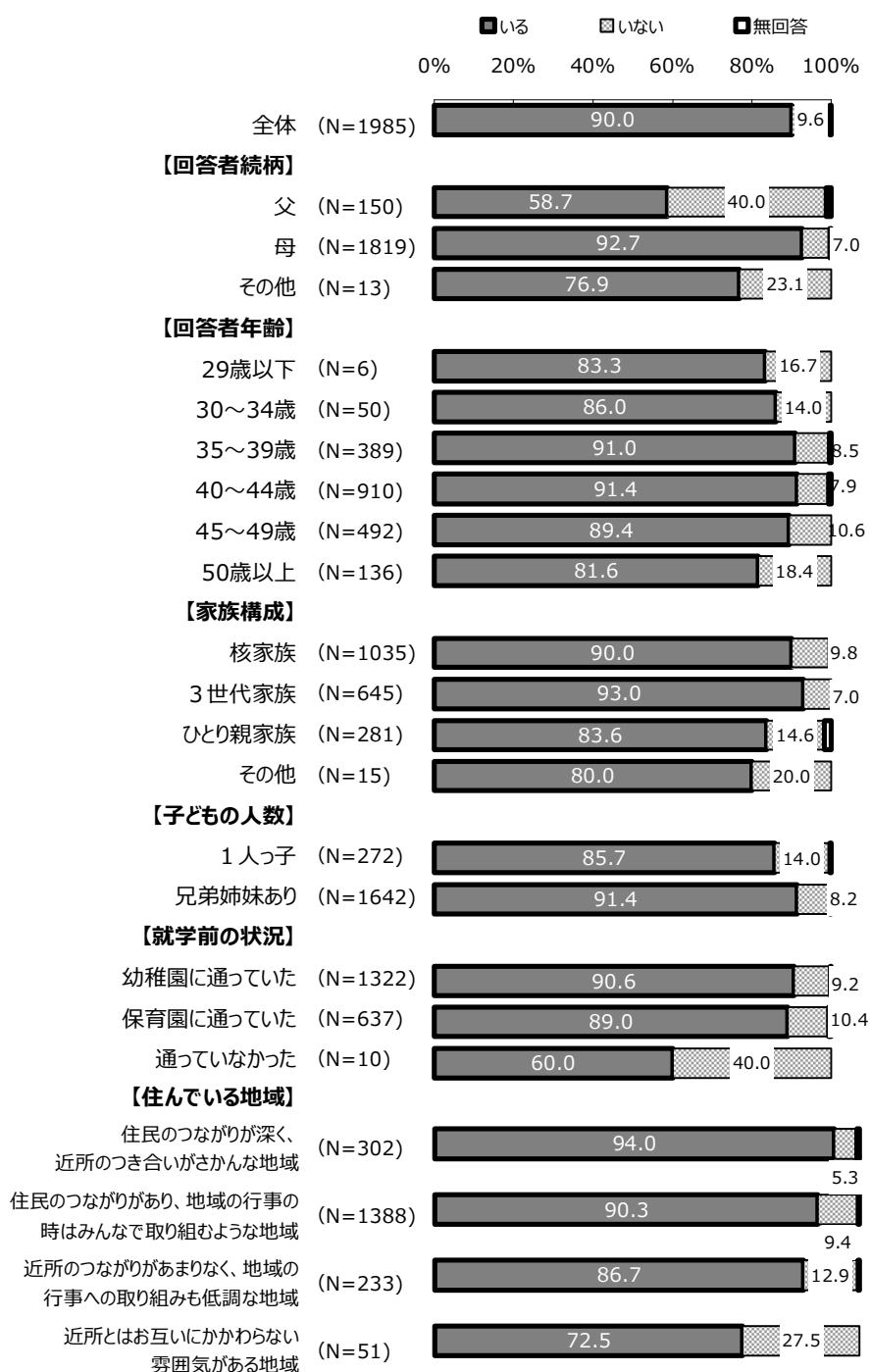
回答者続柄別でみると、「母」の92.7%が「いる」と回答しているのに対し、「父」においては58.7%にとどまっている。

回答者年齢別では、30代、40代では「いる」との回答は9割近くを占めているが、「50歳以上」では81.6%と他の年齢層と比較して低めである。

家族構成別でみると、「核家族」90.0%、「3世代家族」93.0%と9割が「いる」と回答しているのに対し、「ひとり親家族」は83.6%とやや低めとなっている。

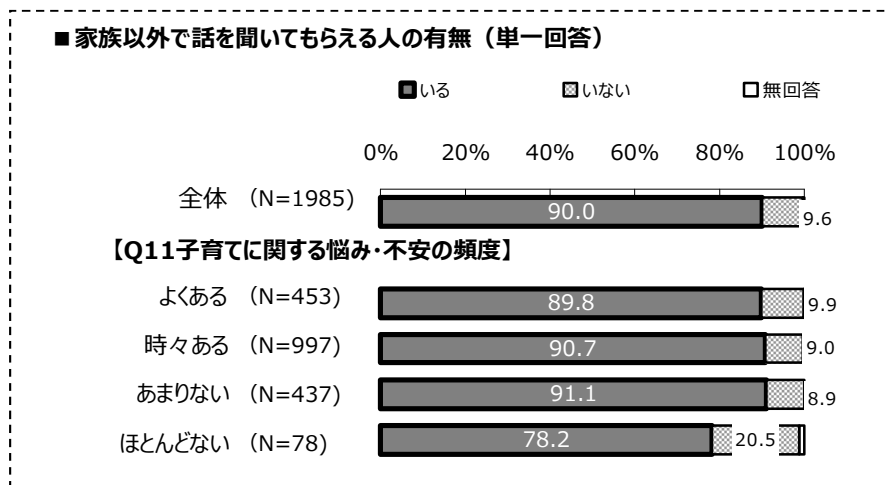
住んでいる地域別では、「住んでいる地域」が94.0%、「住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域」が94.0%、「住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域」が90.3%と住民同士のつながりがある地域において9割を越すものの、「近所のつながりがあまりなく、地域の行事への取り組みも低調な地域」86.7%、「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」72.5%と、住民同士のつながりが希薄な地域になると顕著にその割合が低くなっている。

■ 家族以外で話を聞いてもらえる人の有無（単一回答）



<家族以外で話を聞いてもらえる人の有無／Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別でみると、「(悩み・不安が)よくある」で 89.8%、「時々ある」90.7%で何らかの悩み・不安のある人では軒並み 9 割が「いる」と回答している。



<話し相手となる人／属性別>

話し相手となる人について回答者続柄別でみると、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」が「父」59.1%、「母」84.6%で共にトップとなっている。「母」については、「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」も 48.9%と比較的高い数値となっているが、「父」については「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」以外に 2 割を越すものはない。

回答者年齢別では「29 歳以下」を除くいずれの年齢層においても、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」が軒並み 7 割を越して最も高くなっている。「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」がそれに次いで高い割合となっているが、「50 歳以上」になると 28.8%と低くなっている。

■ 話し相手となる人 (複数回答)

(単位: % カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	者同 仲じ 間年 の 子 ど も を 持 つ 保 護 者 仲 間 の	子異 ども をへ つ の 保 護 者 仲 間 の	異学 学年 上へ の 保 護 者 仲 間 の	わ近 つ所 たに 経住 験む 豊子 富な 方育 が終 の	な ど に 住 む 子 育 て が 終 る こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	学 塾 の 教 師 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	中 学 校 の 教 師 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	生 徒 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	先 生 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	卒 業 生 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	市 町 の 相 談 機 関 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	ト イ タ リ の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	の 担 当 者 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	N P O の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	そ の 他 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る	無 回 答 の こ の こ ろ に あ る こ の こ ろ に あ る
全体 (1786)	83.0	47.1	14.2	10.2	6.4	2.9	1.3	1.1	0.3	22.2	0.1					
【回答者続柄】																
父 (88)	59.1	19.3	14.8	17.0	14.8	5.7	1.1	0.0	0.0	26.1	0.0					
母 (1686)	84.6	48.9	14.2	9.9	5.9	2.7	1.2	1.1	0.3	21.9	0.0					
その他 (10)	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	50.0	10.0					
【回答者年齢】																
29歳以下 (5)	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0					
30~34歳 (43)	76.7	41.9	9.3	0.0	4.7	2.3	0.0	2.3	0.0	25.6	0.0					
35~39歳 (354)	82.8	46.9	14.4	9.0	4.8	3.7	1.7	1.4	0.0	21.2	0.0					
40~44歳 (832)	86.8	50.7	13.8	10.8	7.1	2.4	0.8	0.8	0.6	19.0	0.0					
45~49歳 (440)	79.5	46.1	14.8	12.0	5.9	3.4	1.4	1.1	0.0	26.4	0.0					
50歳以上 (111)	73.9	28.8	15.3	6.3	8.1	1.8	2.7	0.9	0.0	30.6	0.9					

II 調査結果

家族構成別でみると、「ひとり親家族」では「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」や「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」の数値が、「核家族」や「3 世代家族」と比較してやや低くなっており、「その他」の数値が 3 割台と高めになっている。「ひとり親家族」では回答者の就業率(「仕事をしている」と回答した人の割合)が 94.7%と「核家族」「3 世代家族」と比較して高いためか、職場の同僚、友人(自分自身の友人)などの回答が目立つ。

就学前の状況別では、「保育園に通っていた」は「幼稚園に通っていた」と比較して「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」の数値がやや低めであるが、「その他」の数値が 28.4%と高めになっている。「保育園に通っていた」と回答した人の就業率(「仕事をしている」と回答した人の割合)が 92.8%で、「幼稚園に通っていた」との回答者と比較して高いためか、職場の同僚、友人(自分自身の友人)などの回答が目立つ。

住んでいる地域別でみると、「住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域」「住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域」の人と比べて、「近所のつながりがあり、地域の行事への取り組みも低調な地域」「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」など住民同士のつながりが希薄な地域の人では、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」の数値が低くなっており、「その他」の数値が高くなっている。その他では職場の同僚、友人といった回答が多い。

■話し相手となる人(複数回答)

(単位: % カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	者同 仲じ 間年 の 子 ど も を 持 つ 保 護 者 仲 間	子異 ど学 も年 を(一 持上 つ学 の保 護者 仲 間)	わ近 つ所 たに 経住 験む 豊子 富育 な方 が 終	な ど 子 や ム の 監 督 や コ ー チ	学 子 習 い の 事 務 先 生 、 コ ー チ	中 学 校 の 先 生	生 先 卒 、 卒 業 し た 幼 稚 園 、 保 育 園 の 先 生	市 や 町 の 相 談 機 関 の 担 当 者	てト 仲な 間タ で知 り合 った 交 流 子 育 イ	の 担 当 者 な ど 民 間 の 相 談 機 関	そ の 他	無 回 答
全体 (1786)	83.0	47.1	14.2	10.2	6.4	2.9	1.3	1.1	0.3	22.2	0.1	
【家族構成】												
核家族 (931)	84.0	46.0	15.0	9.8	5.4	2.8	1.4	1.3	0.3	21.4	0.0	
3世代家族 (600)	86.8	52.7	12.8	12.3	6.2	3.2	0.8	0.8	0.3	19.3	0.0	
ひとり親家族 (235)	70.6	39.6	13.6	7.2	10.6	2.6	1.3	0.9	0.0	31.9	0.0	
その他 (12)	66.7	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	33.3	8.3	
【子どもの人数】												
1人っ子 (233)	76.8	42.1	16.3	8.6	6.0	3.0	0.0	1.3	0.4	24.9	0.4	
兄弟姉妹あり (1500)	84.5	48.4	14.1	10.4	6.5	2.9	1.4	1.0	0.3	21.4	0.0	
【就学前の状況】												
幼稚園に通っていた (1198)	84.7	50.2	13.4	10.7	5.9	2.5	1.3	1.1	0.3	19.1	0.0	
保育園に通っていた (567)	79.9	41.4	16.0	8.8	7.1	3.9	1.2	1.1	0.4	28.4	0.2	
通っていなかった (6)	83.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	
【住んでいる地域】												
住民のつながりが深く、 近所のつき合いがさかんな地域 (284)	86.3	48.2	20.8	13.4	9.2	6.0	1.4	1.1	0.0	20.4	0.0	
住民のつながりがあり、地域の行事の 時はみんなで取り組むような地域 (1253)	84.5	48.6	13.6	9.8	6.1	2.6	1.4	1.2	0.2	21.1	0.1	
近所のつながりがあり、地域の 行事への取り組みも低調な地域 (202)	74.3	37.1	7.4	8.4	4.5	1.5	0.5	0.0	1.0	29.7	0.0	
近所とはお互いにかかわらない 雰囲気がある地域 (37)	54.1	40.5	16.2	8.1	5.4	0.0	2.7	2.7	0.0	32.4	0.0	

<話し相手となる人／Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別でみると、「(悩み・不安が)よくある」「時々ある」とともに「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」が8割を越してトップ。次いで「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」が5割程度となっている。

■話し相手となる人 (複数回答)

(単位：% カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	者 仲 間	同 じ 年 の 子 ど も を 持 つ 保 護 者 仲 間	子 ど も を 持 つ 保 護 者 仲 間 の 異 学 年 の 子 ど も を 持 つ 保 護 者 仲 間	異 学 年 の 子 ど も を 持 つ 保 護 者 仲 間	わ た し の 経 験 に よ り 子 育 て が 終 わ る	近 所 に 住 む 子 育 て が 終 わ る	な ら び に 子 育 て が 終 わ る	学 習 の 支 援 を 受 け る 先 生 や コ レ ク チ ャ ー	中 学 校 の 先 生	生 活 の 支 援 を 受 け る 先 生	卒 業 し た 幼 稚 園 、 保 育 園 の 先 生	市 や 町 の 相 談 機 関 の 担 当 者	て い な い 知 り 合 わ い の 機 会	の 担 当 者 な ど 民 間 の 相 談 機 関	N P O な ど	そ の 他	無 回 答	
全体 (1786)	83.0	47.1	14.2	10.2	6.4	2.9	1.3	1.1	0.3	22.2	0.1							
【Q11子育てに関する悩み・不安の頻度】																		
よくある (407)	82.3	46.7	13.8	9.3	6.1	2.7	3.2	1.2	1.0	25.8	0.0							
時々ある (904)	83.7	48.0	14.6	10.5	7.2	2.5	1.0	1.0	0.0	20.4	0.1							
あまりない (398)	83.7	46.5	14.8	9.5	4.0	3.0	0.3	1.0	0.0	22.4	0.0							
ほとんどない (61)	80.3	39.3	9.8	16.4	11.5	9.8	0.0	0.0	1.6	19.7	0.0							

<家族以外で話を聞いてもらえる人がいない理由／属性別>

回答者続柄別でみると、「父」においては「自分で考えて乗り越える問題だと思う」や「相談機関にかかるほど大きな問題ではないと思う」など、悩みを家族以外に聞いてもらうことの必要性そのものを感じていない人が多いことがうかがえる。一方「母」においては、「まわりに話を聞いてもらえるような人がいない」「話を聞いてもらうことに抵抗がある」などで高くなっており、悩みを聞いて欲しいと思いつつも出来ていない人が多くなっている。

回答者年齢別で見ると、年齢が若い人ほど「話を聞いてもらうことに抵抗がある」との回答が多くなっている。

家族構成別では、特に「核家族」において、「まわりに話を聞いてもらえる人がいない」(33.7%)、「話を聞いてもらうことに抵抗がある」(21.8%)が、「3世代家族」「ひとり親家族」と比較して高い割合となっている。一方で、「3世代家族」「ひとり親家族」では「自分で考えて乗り越える問題だと思う」がいずれも3割台で高くなっている。

<家族以外で話を聞いてもらえる人がいない理由／Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別でみると、「(悩み・不安)がよくある」人では「まわりに話を聞いてもらえるような人がいない」が44.4%と特に高く、「話を聞いてもらうことに抵抗がある」が24.4%と続く。

■ 家族以外で話を聞いてもらえる人がいない理由 (複数回答)

(単位: % カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	えま るわ より うに な話 が聞 いて もら えら	問自 題分 だで と考 え て 乗 り 越 え る	抵話 抗を が聞 いて も ら う こ と に	う大 き な 問 題 に か か る ほ ど 、 思	相 談 機 関 に か か る ほ ど 、 思	で本 調や ベイン ン で解 決 で ネ ツ ト な ど	相 談 機 関 が ま わ り に な い	そ の 他	無 回 答
全体 (191)	28.3	24.1	17.8	14.7	2.1	1.6	8.4	3.1	
【回答者続柄】									
父 (60)	25.0	33.3	5.0	21.7	3.3	3.3	8.3	0.0	
母 (127)	30.7	19.7	23.6	11.0	1.6	0.8	8.7	3.9	
その他 (3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
【回答者年齢】									
29歳以下 (1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30~34歳 (7)	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	
35~39歳 (33)	30.3	24.2	24.2	6.1	3.0	0.0	9.1	3.0	
40~44歳 (72)	26.4	23.6	19.4	15.3	1.4	2.8	8.3	2.8	
45~49歳 (52)	30.8	17.3	15.4	21.2	1.9	0.0	9.6	3.8	
50歳以上 (25)	28.0	40.0	12.0	8.0	4.0	4.0	0.0	4.0	
【家族構成】									
核家族 (101)	33.7	17.8	21.8	13.9	3.0	0.0	6.9	3.0	
3世代家族 (45)	22.2	31.1	11.1	20.0	0.0	2.2	8.9	4.4	
ひとり親家族 (41)	22.0	31.7	17.1	9.8	2.4	4.9	12.2	0.0	
その他 (3)	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	
【子どもの人数】									
1人っ子 (38)	23.7	31.6	18.4	15.8	0.0	2.6	5.3	2.6	
兄弟姉妹あり (135)	31.1	23.7	17.0	14.1	1.5	1.5	8.1	3.0	
【就学前の状況】									
幼稚園に通っていた (121)	27.3	24.8	18.2	14.0	2.5	0.8	8.3	4.1	
保育園に通っていた (66)	30.3	24.2	18.2	15.2	0.0	1.5	9.1	1.5	
通っていなかった (4)	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
【住んでいる地域】									
住民のつながりが深く、 近所のつき合いがさかんな地域 (16)	31.3	12.5	18.8	18.8	6.3	0.0	6.3	6.3	
住民のつながりがあり、地域の行事の 時はみんなで取り組むような地域 (130)	28.5	26.2	16.9	14.6	1.5	0.8	9.2	2.3	
近所のつながりがあり、地域の 行事への取り組みも低調な地域 (30)	30.0	16.7	23.3	16.7	0.0	6.7	6.7	0.0	
近所とはお互いにかかわらない 雰囲気がある地域 (14)	21.4	35.7	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3	
【Q11子育てに関する悩み・不安の頻度】									
よくある (45)	44.4	15.6	24.4	0.0	0.0	0.0	8.9	6.7	
時々ある (90)	31.1	26.7	21.1	11.1	1.1	3.3	3.3	2.2	
あまりない (39)	10.3	23.1	7.7	35.9	5.1	0.0	15.4	2.6	
ほとんどない (16)	6.3	37.5	6.3	25.0	6.3	0.0	18.8	0.0	

問 14 子育てについて、家族以外に相談できる人はいますか。(○は1つ)

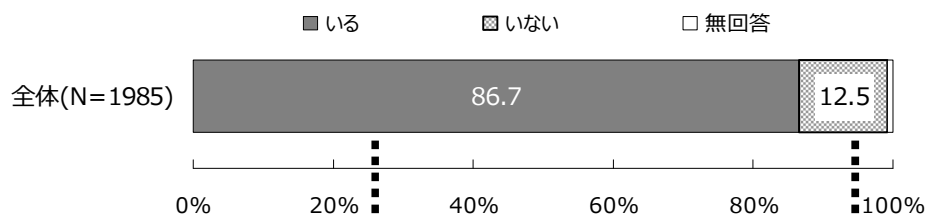
(問 14 で「1 いる」と答えた方)

問 14-1 その人はどのような人ですか。(○はあてはまるものすべて)

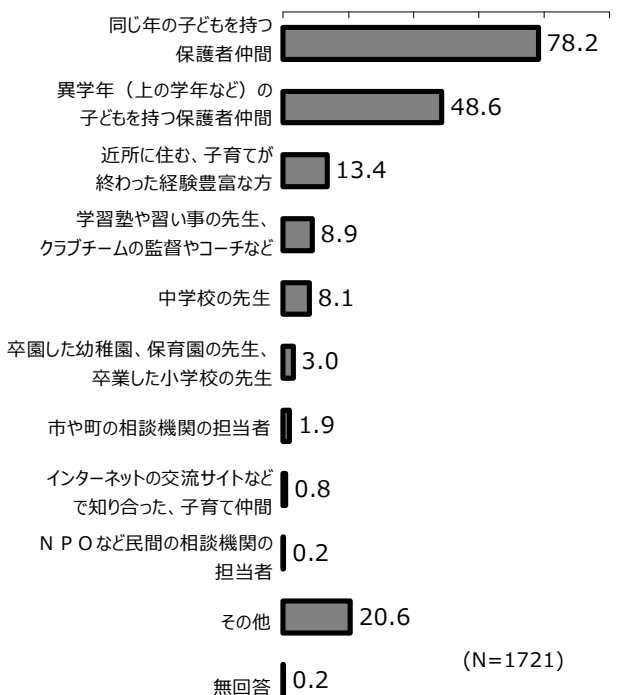
(問 14 で「2 いない」と答えた方)

問 14-2 それぞれいない理由として最も近いものを選んでください。(○は1つ)

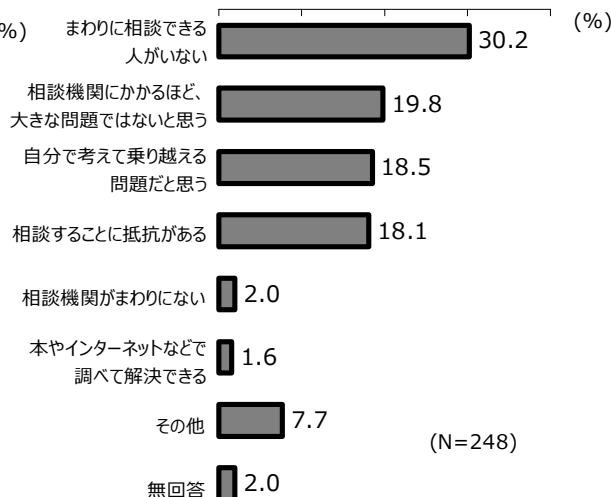
■ 家族以外で相談できる人の有無 (単一回答)



■ 相談相手となる人 (複数回答)



■ いない理由 (単一回答)



子育てについて、家族以外で相談できる人の有無をたずねたところ、「いる」と回答した人が 86.7%であった。

「いる」と回答した人に対し、どのような人であるか複数回答で求めたところ、トップは「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」で 78.2%、次いで「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」48.6%、「近所に住む、子育てが終わった経験豊富な方」13.4%、「学習塾や習い事の先生、クラブチームの監督やコーチなど」8.9%と続く。「その他」の回答で多かったのは、「職場の同僚」「自分自身の友人」「自分自身の兄弟・姉妹」など。

「いない」と回答した人にその理由として最もあてはまるもの1つをたずねた。「まわりに相談できる人がいない」が 30.2%で最も高く、次いで「相談機関にかかるほど、大きな問題ではないと思う」が 19.8%、「自分で考えて乗り越える問題だと思う」18.5%、「相談することに抵抗がある」18.1%と続く。

<家族以外で相談できる人の有無／属性別>

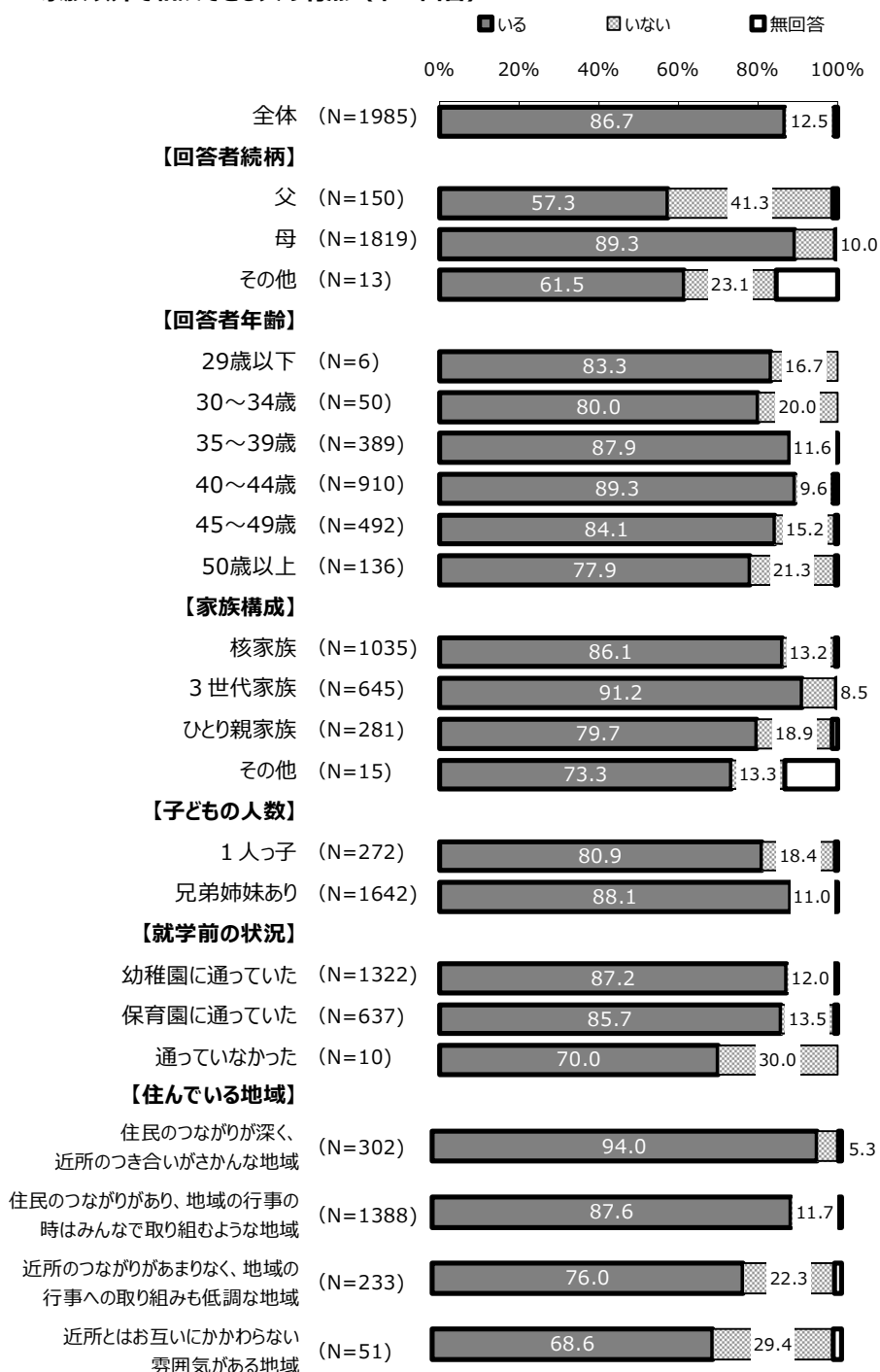
回答者続柄別でみると、「母」の89.3%が「いる」と回答しているのに対し、「父」においては57.3%にとどまっている。

回答者年齢別では、「35～39歳」「40～44歳」では「いる」との回答は9割近くを占めているが、「45～49歳」「50歳以上」と年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっている。

家族構成別でみると、「核家族」の86.1%、「3世代家族」の91.2%が「いる」と回答しているのに対し、「ひとり親家族」では79.7%とやや低めとなっている。

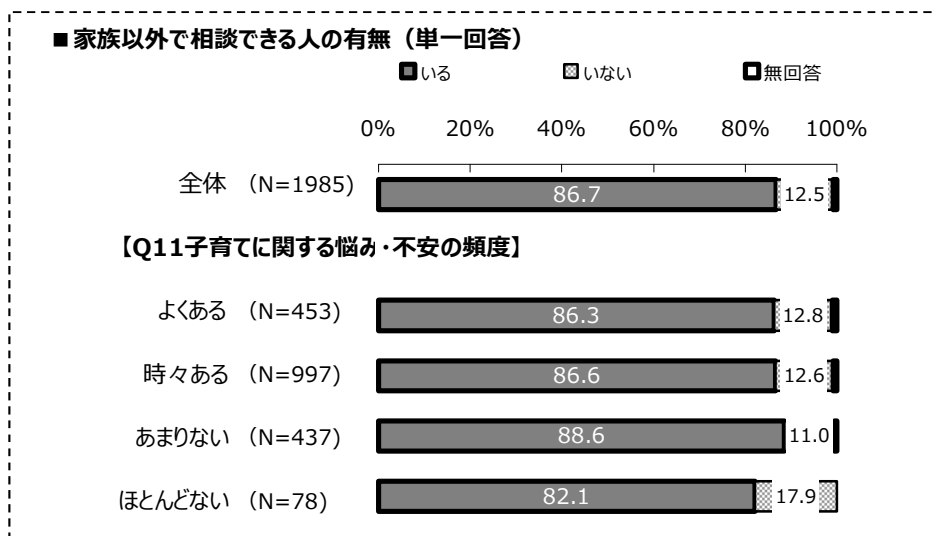
住んでいる地域別では、「いる」と回答した人の割合でみると、「住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域」が94.0%、「住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域」で87.6%、「近所のつながりがあまりなく、地域の行事への取り組みも低調な地域」で76.0%、「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」で68.6%と、住民同士のつながりが希薄な地域であるほど、その割合が低くなっている。

■ 家族以外で相談できる人の有無（単一回答）



<家族以外で相談できる人の有無／Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てについて家族以外で相談できる人の有無を、子育てに関する悩み・不安の頻度別でみると、「(悩み・不安が)よくある」と回答した人で86.3%、「時々ある」で86.6%となっており、何らかの悩み・不安のある人では8割以上が「いる」と回答している。



<相談相手となる人／属性別>

相談相手となる人について、回答者続柄別でみると「父」「母」ともに「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」がトップとなっている。「母」については、「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」も50.3%と高い数値となっている。「父」については「中学校の先生」が20.9%と高め。

回答者年齢別では「29歳以下」を除くいずれの年齢層においても、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」が軒並み7~8割程度で高くなっている。「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」がそれに次いで高い割合となっているが、「50歳以上」になると32.1%と低くなる。「50歳以上」では「中学校の先生」が13.2%で他の年齢層よりも高めとなっている。

■相談相手となる人 (複数回答)

(単位: % カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	保護者仲間	同じ年の子どもを持つ保護者仲間	異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間	近隣の住む子どもを持つ保護者仲間	習字塾や習字会など	学校の先生	中学校の先生	幼稚園の先生	卒園生	当市や町の相談機関	子育て支援センター	サイレントネット	インターネット	機関Pの担当者	NPO	その他	無回答
全体 (1721)	78.2	48.6	13.4	8.9	8.1	3.0	1.9	0.8	0.2	20.6	0.2						
【回答者続柄】																	
父 (86)	53.5	20.9	15.1	11.6	20.9	3.5	1.2	0.0	0.0	26.7	0.0						
母 (1625)	79.7	50.3	13.4	8.7	7.4	3.0	1.8	0.8	0.2	20.1	0.2						
その他 (8)	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0						
【回答者年齢】																	
29歳以下 (5)	60.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0						
30~34歳 (40)	75.0	40.0	10.0	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0	25.0	0.0						
35~39歳 (342)	81.6	45.9	12.6	5.6	4.7	2.6	2.0	1.5	0.0	21.3	0.0						
40~44歳 (813)	80.3	52.6	13.4	9.6	8.9	2.7	1.5	0.4	0.4	17.0	0.2						
45~49歳 (414)	74.4	48.8	14.0	11.6	8.5	4.3	1.9	0.5	0.2	25.1	0.0						
50歳以上 (106)	67.9	32.1	14.2	7.5	13.2	0.9	4.7	1.9	0.0	24.5	0.9						

II 調査結果

家族構成別でみると、「ひとり親家族」では「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」や「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」の数値が、「核家族」や「3 世代家族」と比較してやや低くなっており、「その他」の数値が 31.3%で高め。「ひとり親家族」では回答者の就業率(「仕事をしている」と回答した人の割合)が 94.7%と「核家族」「3 世代家族」と比較して高いため、「その他」では職場の同僚や友人などの回答が多い。

就学前の状況別では、「保育園に通っていた」は「幼稚園に通っていた」と比較して「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」の数値がやや低めであるが、「その他」の数値は 26.2%と高めになっている。「保育園に通っていた」と回答した人の就業率(「仕事をしている」と回答した人の割合)が 92.8%で、「幼稚園に通っていた」との回答者と比較して高いためか、職場の同僚、友人などの回答が目立つ。

住んでいる地域別でみると、「住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域」「住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域」の人と比べて、「近所のつながりがあまりなく、地域の行事への取り組みも低調な地域」「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」など住民同士のつながりが希薄な地域の人では、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」の数値が低くなっており、「その他」の数値が高くなっている。

■ 相談相手となる人 (複数回答)

(単位：% カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	保護者仲間	子どもを持つ保護者仲間	異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間	終わつた住む豊な方が	近所(同じ年の子どもを持つ保護者仲間)	習熟な子達の先	生習(習い事)の先	学塾(習い事)の先	中学校の先生	学校の先生	卒園した先生	市や町の相談機関の担当者	子育て支援センター	サイタナネットの交流	民間の相談	その他	無回答
全体 (1721)	78.2	48.6	13.4	8.9	8.1	3.0	1.9	0.8	0.2	20.6	0.2						
【家族構成】																	
核家族 (891)	77.8	47.6	14.7	7.7	7.6	2.9	2.0	1.3	0.2	18.6	0.2						
3 世代家族 (588)	82.8	53.4	11.4	11.6	7.5	3.4	1.4	0.0	0.3	19.4	0.2						
ひとり親家族 (224)	67.4	42.0	12.5	7.1	12.1	2.2	2.2	0.4	0.0	31.3	0.0						
その他 (11)	72.7	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	27.3	0.0						
【子どもの人数】																	
1 人っ子 (220)	74.1	41.8	14.1	8.6	7.3	2.3	0.5	0.9	0.5	22.7	0.0						
兄弟姉妹あり (1447)	79.3	50.2	13.5	8.8	8.3	3.2	2.0	0.7	0.2	20.0	0.2						
【就学前の状況】																	
幼稚園に通っていた (1153)	79.7	52.0	12.6	9.4	8.5	2.7	1.9	0.7	0.2	18.0	0.2						
保育園に通っていた (546)	75.5	42.3	15.4	7.5	7.3	3.7	1.8	0.9	0.4	26.2	0.2						
通っていなかった (7)	57.1	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0						
【住んでいる地域】																	
住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域 (284)	79.6	51.8	20.8	10.9	10.2	6.0	2.5	0.4	0.4	18.0	0.4						
住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域 (1216)	79.7	49.5	12.2	8.9	8.1	2.7	2.0	1.0	0.2	20.4	0.2						
近所のつながりがあまりなく、地域の行事への取り組みも低調な地域 (177)	71.8	40.1	8.5	6.2	5.6	1.1	0.6	0.0	0.6	24.3	0.0						
近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域 (35)	45.7	34.3	20.0	5.7	8.6	0.0	2.9	0.0	0.0	28.6	0.0						

<相談相手となる人／Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別でみると、「(悩み・不安が)よくある」「時々ある」「あまりない」については、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」にあまり差はみられなかったが、「ほとんどない」については、数値が低くなっている。

■相談相手となる人(複数回答)

(単位: % カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	保 護 者 仲 間 の 子 ど も を 持 っ た 同 年 の 子 ど も を 持 っ た 保 護 者 仲 間	護 者 仲 間 の 上 の 子 ど も を 持 っ た 保 護 者 仲 間	異 年 の 子 ど も を 持 っ た 保 護 者 仲 間	終 わ つ た 住 む 経 験 、 子 育 て の 方 が	近 所 に 住 む 子 育 て の 方	督 や コ ラ ブ な ど の 先 監	生 や コ ラ ブ な ど の 先 監	学 習 や 習 い 事 の 先 監	中 学 校 の 先 生	学 校 の 先 生	卒 園 先 生 、 幼 稚 園 、 保 育 小	当 市 や 町 の 相 談 機 関 の 担	た 、 子 育 て 仲 間	サイ ン タ ー ネ ッ ト の 交 流	機 関 の 担 当 者 民 間 の 相 談	N P O な ど の 相 談	そ の 他	無 回 答	
全体 (1721)	78.2	48.6	13.4	8.9	8.1	3.0	1.9	0.8	0.2	20.6	0.2								
【Q11子育てに関する悩み・不安の頻度】																			
よくある (391)	75.2	50.4	13.0	9.0	9.0	2.0	4.9	1.3	0.8	21.5	0.0								
時々ある (863)	81.2	49.0	12.9	9.4	8.3	2.8	1.2	0.7	0.0	18.9	0.1								
あまりない (387)	76.7	47.3	15.0	7.0	5.4	3.9	0.8	0.5	0.0	22.0	0.5								
ほとんどない (64)	73.4	39.1	14.1	10.9	14.1	7.8	1.6	0.0	1.6	21.9	0.0								

<家族以外で相談相手がない理由／属性別>

家族以外で相談できる人がいない理由について回答者続柄別でみると、「父」においては「自分で考えて乗り越える問題だと思う」が 32.3%と高くなっている。一方「母」においては、「まわりに相談できる人がいない」「相談することに抵抗がある」などで高くなっており、悩みを誰かに相談したいと思いつつも出来ていないといった人が多くいることがうかがえる。

回答者年齢別でみると、年齢が若い人ほど「相談することに抵抗がある」との回答が多くなっている。

家族構成別では、特に「核家族」において、「まわりに相談できる人がいない」(34.3%)、「相談することに抵抗がある」(20.4%)が、「3世代家族」「ひとり親家族」と比較して高い割合となっている。

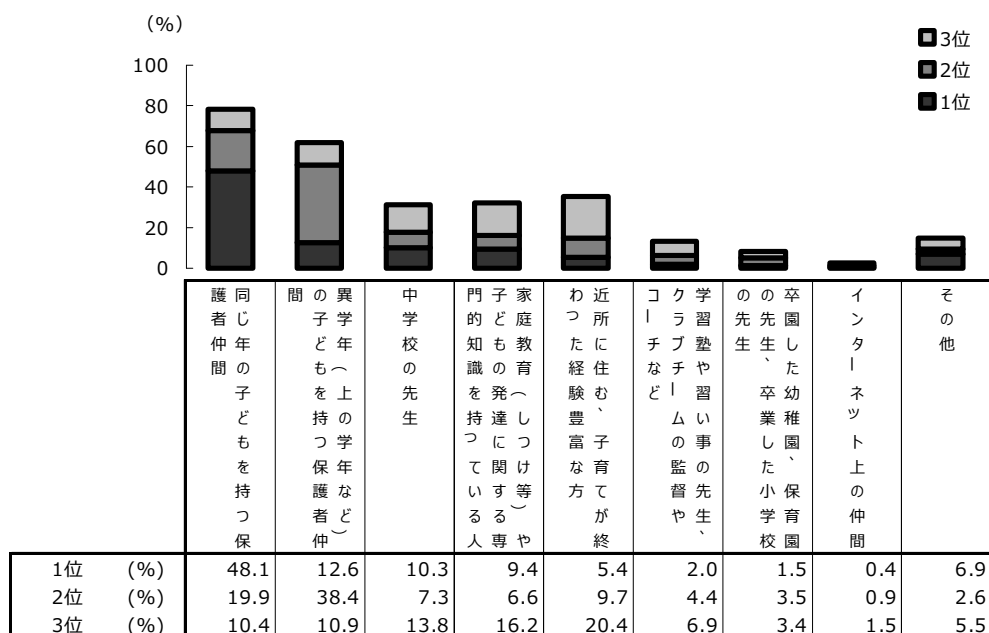
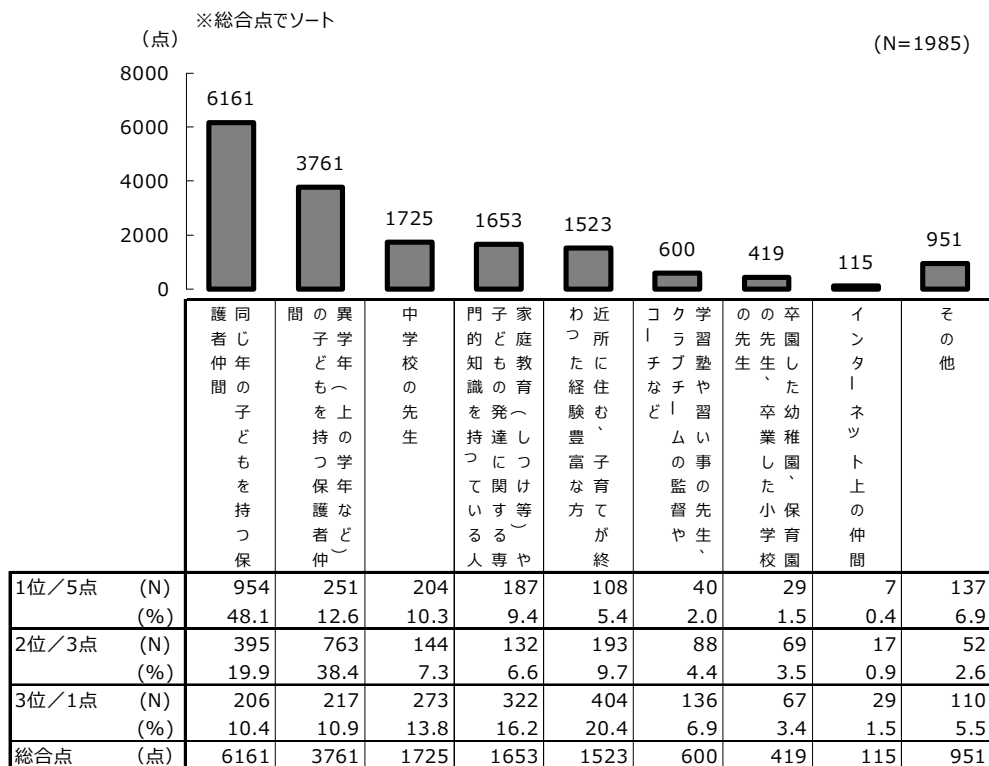
■ 家族以外で相談できる人がいない理由 (単一回答)

(単位: % カッコ内は実数) ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

	なま い り に 相 談 で き る 人 が い い	き 相 談 機 関 で は か か る と 思 う 、 大	題 自 分 と 思 考 し て 乗 り 越 え る 問	相 談 す る こ と に 抵 抗 が あ る	相 談 機 関 が ま わ り に い ない	調 本 や イ ン タ ー ネ ッ ト な ど で	そ の 他	無 回 答	
全体 (248)	30.2	19.8	18.5	18.1	2.0	1.6	7.7	2.0	
【回答者続柄】									
父 (62)	30.6	21.0	32.3	3.2	3.2	1.6	6.5	1.6	
母 (182)	30.8	19.2	14.3	23.1	1.6	1.6	7.7	1.6	
その他 (3)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	
【回答者年齢】									
29歳以下 (1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30~34歳 (10)	30.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
35~39歳 (45)	31.1	15.6	17.8	24.4	0.0	2.2	8.9	0.0	
40~44歳 (87)	25.3	20.7	19.5	20.7	2.3	1.1	8.0	2.3	
45~49歳 (75)	33.3	22.7	14.7	17.3	2.7	1.3	5.3	2.7	
50歳以上 (29)	34.5	17.2	24.1	6.9	3.4	3.4	6.9	3.4	
【家族構成】									
核家族 (137)	34.3	20.4	15.3	20.4	0.0	2.2	5.8	1.5	
3世代家族 (55)	29.1	21.8	25.5	14.5	0.0	0.0	9.1	0.0	
ひとり親家族 (53)	20.8	15.1	20.8	17.0	9.4	1.9	11.3	3.8	
その他 (2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
【子どもの人数】									
1人っ子 (50)	20.0	26.0	26.0	18.0	0.0	0.0	6.0	4.0	
兄弟姉妹あり (181)	33.7	17.1	17.1	19.3	2.2	1.7	7.2	1.7	
【就学前の状況】									
幼稚園に通っていた (159)	29.6	19.5	18.2	21.4	0.6	1.9	6.9	1.9	
保育園に通っていた (86)	31.4	19.8	18.6	12.8	4.7	1.2	9.3	2.3	
通っていなかった (3)	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
【住んでいる地域】									
住民のつながりが深く、 近所のつき合いがさかんな地域 (16)	31.3	31.3	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
住民のつながりがあり、地域の行事の 時はみんなで取り組むような地域 (163)	28.8	18.4	20.2	18.4	1.2	1.8	8.6	2.5	
近所のつながりがあまりなく、地域の 行事への取り組みも低調な地域 (52)	32.7	25.0	11.5	19.2	3.8	0.0	5.8	1.9	
近所とはお互いにかかわらない 雰囲気がある地域 (15)	40.0	6.7	33.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	
【Q11子育てに関する悩み・不安の頻度】									
よくある (58)	46.6	1.7	8.6	34.5	0.0	0.0	6.9	1.7	
時々ある (126)	27.8	23.0	19.8	17.5	2.4	2.4	4.8	2.4	
あまりない (48)	20.8	33.3	20.8	4.2	4.2	2.1	12.5	2.1	
ほとんどない (14)	14.3	21.4	42.9	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	

問 15 これから、子育てについて話を聞いてもらう(くちを聞いてもらう、ちょっとしたアドバイスをもらうなど)ならどのような人がいいですか。上位三つをお答えください。

■これから子育てについて話を聞いてもらいたい相手(上位三つ)



子育てについて話を聞いてもらいたい相手として、1位から3位までの順位づけを求めた。1位を5点、2位を3点、3位を1点とし、実数(N数)に各得点を掛け合わせ、項目ごとに総合得点を算出したところ、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」と「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」が圧倒的に高く、「中学校の先生」「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」「近所に住む、子育てが終わった経験豊富な方」がそれに続いている。

ちなみに、1位の項目として最も多かったのは「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」の48.1%であった。

(項目ごとの総合得点を母数で除して加重平均で比較)

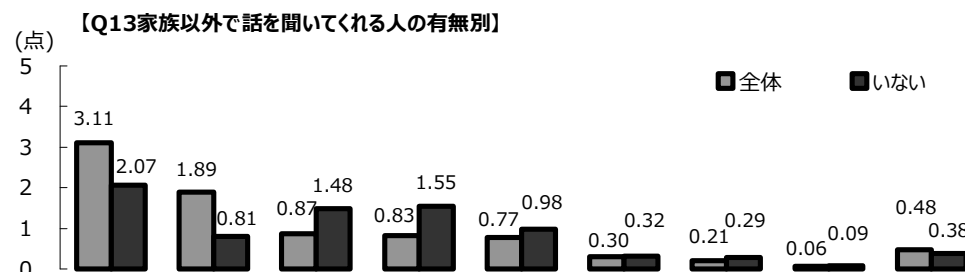
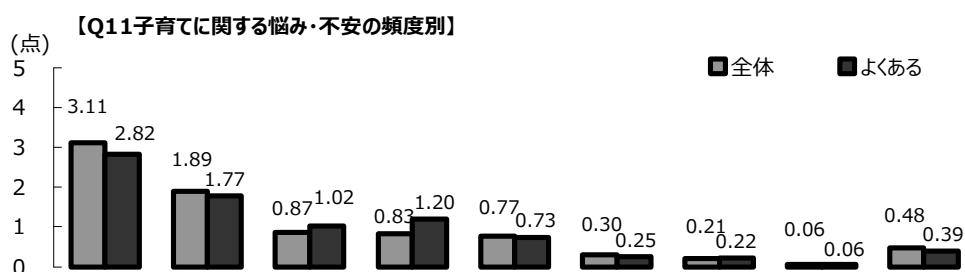
<Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別でみると、「(悩み・不安が)よくある」と回答した人においては、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」及び「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」への期待が特に高くなっている。次いで「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」「中学校の先生」と続いている。

<Q13 家族以外で話を聞いてくれる人の有無別>

家族以外で話を聞いてくれる人の有無別でみると、「(話を聞いてくれる人が)いない」と回答した人においては、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」が最も多く、次いで「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」、「中学校の先生」、「近所に住む、子育てが終わった経験豊富な方」と続いており、「いる」と回答した人に比べて「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」や「中学校の先生」への期待値が高くなっている。

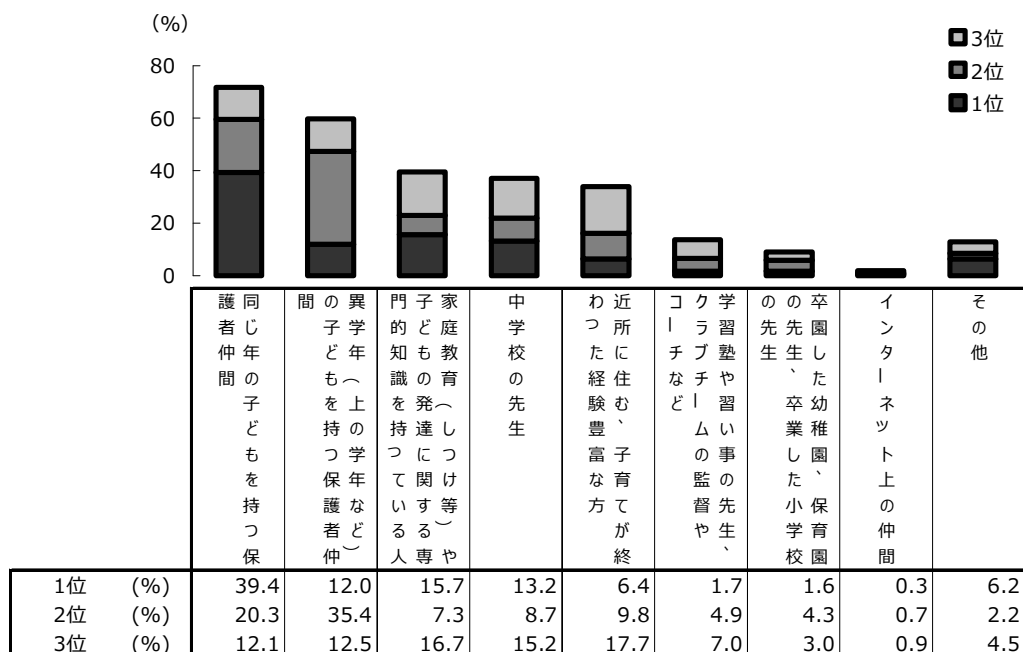
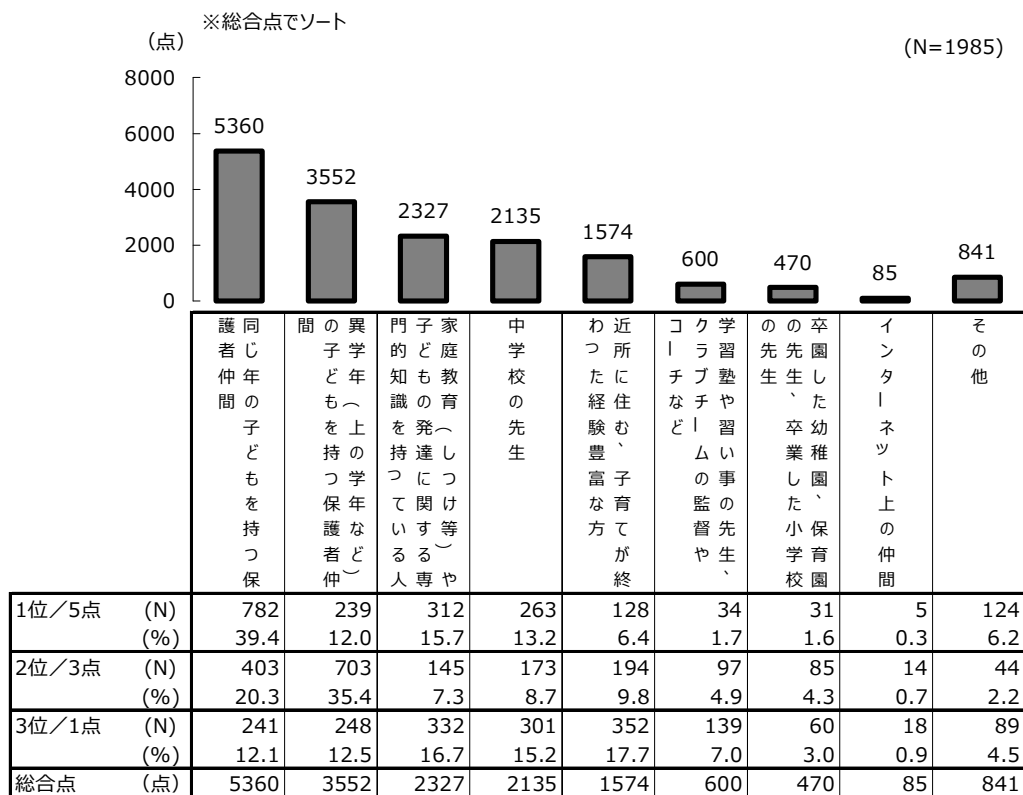
■これから子育てについて話を聞いてもらいたい相手(上位三つ)



	同じ年の子どもを持つ保護者仲間	異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間	中学校の先生	専門的知識を持つ人	近所に住む、子育てが終わった経験豊富な方	コク習塾など	学習塾や習い事の先生	の先生、卒業した幼稚園、保育園、小学校	卒園した幼稚園、保育園	インターネット上の仲間	その他
全体 (1985)	3.11	1.89	0.87	0.83	0.77	0.30	0.21	0.06	0.48		
【Q11子育てに関する悩み・不安の頻度】											
よくある (453)	2.82	1.77	1.02	1.20	0.73	0.25	0.22	0.06	0.39		
時々ある (997)	3.23	1.98	0.85	0.75	0.79	0.30	0.20	0.06	0.46		
あまりない (437)	3.18	1.89	0.79	0.69	0.76	0.34	0.15	0.06	0.57		
ほとんどない (78)	3.00	1.49	0.73	0.46	0.69	0.39	0.54	0.09	0.64		
【Q13家族以外で話を聞いてくれる人の有無】											
いる (1786)	3.22	2.01	0.81	0.76	0.74	0.30	0.20	0.06	0.49		
いない (191)	2.07	0.81	1.48	1.55	0.98	0.32	0.29	0.09	0.38		

問 16 これから、子育てについて相談をするならどのような人がいいですか。上位三つをお答えください。

■ これから子育てについて相談したい相手（上位三つ）



子育てについて相談したい相手として、1位から3位までの順位づけを求めた。1位を5点、2位を3点、3位を1点とし、実数(N数)に各得点を掛け合わせ、項目ごとに総合得点を算出したところ、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」と「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」が特に高く、「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」「中学校の先生」「近所に住む、子育てが終わった経験豊富な方」がそれに続いている。ちなみに1位の項目として最も多かったのは「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」の39.4%であった。

(項目ごとの総合得点を母数で除して加重平均で比較)

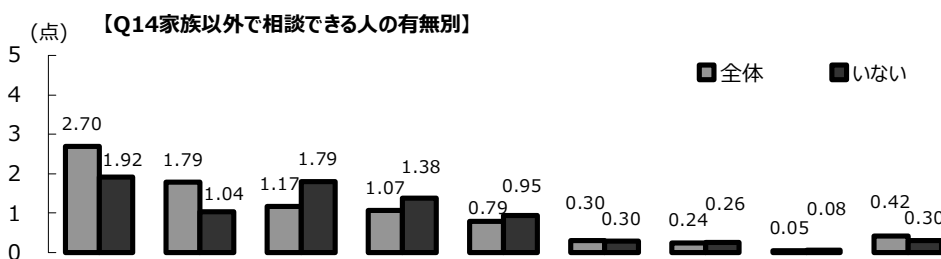
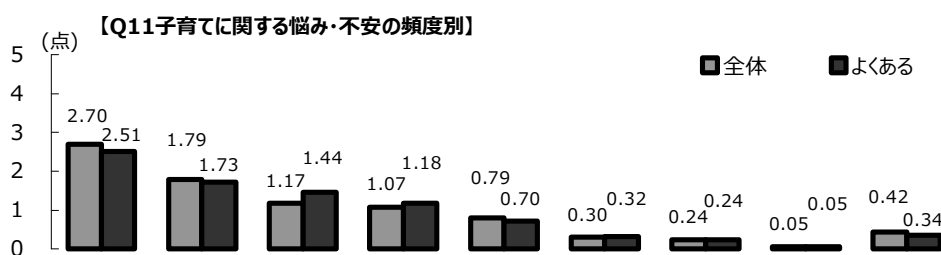
<Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別でみると、「(悩み・不安が)よくある」と回答した人においては、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」への期待が最も高く、次いで「異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間」、「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」「中学校の先生」と続いている。

<Q14 家族以外で相談できる人の有無別>

家族以外で相談できる人の有無別でみると、「(相談できる人が)いない」と回答した人においては、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」が1.92と最も高いポイントだが、「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」も1.79と高いポイントとなっている。次いで「中学校の先生」、「異学年の子どもを持つ保護者仲間」と続いている。「いる」と回答した人に比べて特に「家庭教育や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人」や「中学校の先生」への期待値が高いことがうかがえる。

■これから子育てについて相談したい相手(上位三つ)



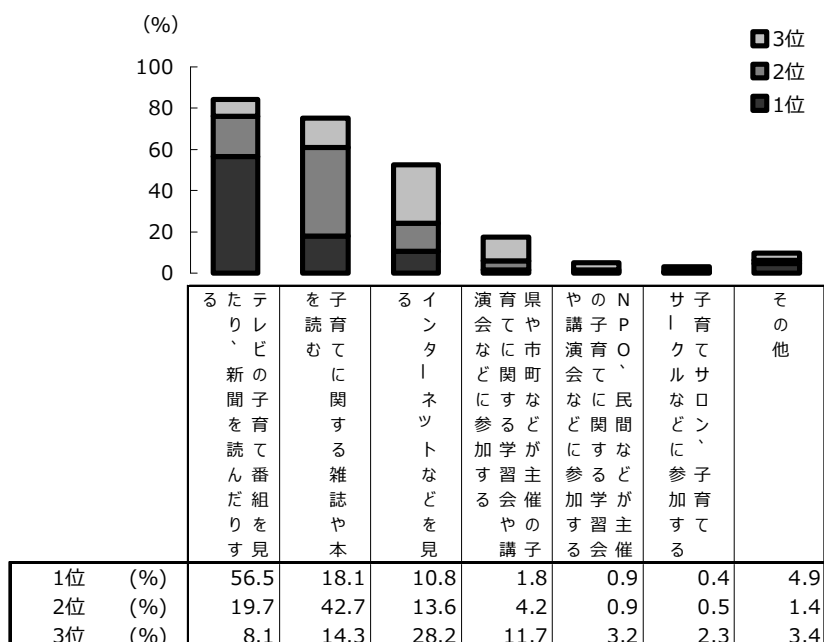
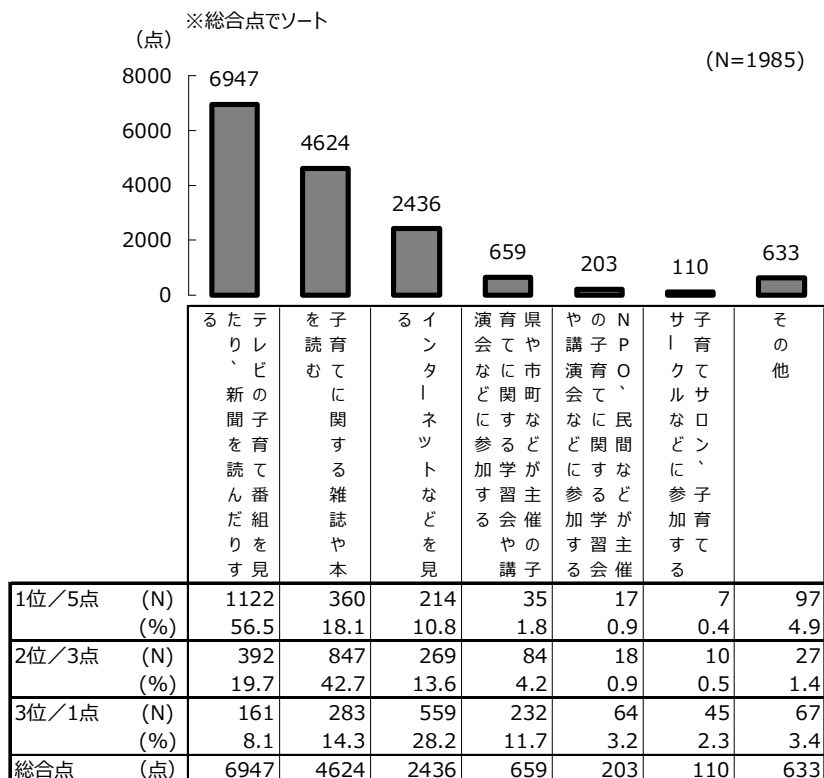
	同じ年の子どもを持つ保護者仲間	異学年の子どもを持つ保護者仲間	専門的知識を持つ人	中学校の先生	近所に住む子育てが終った経験豊富な方	クラッチなど	学習塾や習い事の先生	の先生、卒業した幼稚園、小学校	卒園した幼稚園、保育園	インターネット上の仲間	その他
全体 (1985)	2.70	1.79	1.17	1.07	0.79	0.30	0.24	0.05	0.42		

頻度	同じ年の子どもを持つ保護者仲間	異学年の子どもを持つ保護者仲間	専門的知識を持つ人	中学校の先生	近所に住む子育てが終った経験豊富な方	クラッチなど	学習塾や習い事の先生	の先生、卒業した幼稚園、小学校	卒園した幼稚園、保育園	インターネット上の仲間	その他
よくある (453)	2.51	1.73	1.44	1.18	0.70	0.32	0.24	0.05	0.34		
時々ある (997)	2.76	1.81	1.16	1.08	0.83	0.29	0.24	0.04	0.42		
あまりない (437)	2.84	1.88	0.98	1.00	0.80	0.29	0.19	0.03	0.49		
ほとんどない (78)	2.56	1.42	0.69	0.93	0.78	0.47	0.39	0.08	0.46		

有無	同じ年の子どもを持つ保護者仲間	異学年の子どもを持つ保護者仲間	専門的知識を持つ人	中学校の先生	近所に住む子育てが終った経験豊富な方	クラッチなど	学習塾や習い事の先生	の先生、卒業した幼稚園、小学校	卒園した幼稚園、保育園	インターネット上の仲間	その他
いる (1721)	2.83	1.91	1.09	1.04	0.77	0.31	0.23	0.04	0.44		
いない (248)	1.92	1.04	1.79	1.38	0.95	0.30	0.26	0.08	0.30		

問 17 話を聞いてもらったり、相談したりする以外で、家庭教育(しつけ等)、子育てに関する知識等を現在どのようにして得ていますか。上位三つをお答えください。

■家庭教育、子育ての知識に関する情報源(上位三つ)



家庭教育、子育ての知識に関する情報源について1位から3位までの順位づけを求めた。1位を5点、2位を3点、3位を1点とし、実数(N数)に各得点を掛け合わせ、項目ごとに総合得点を算出したところ、「テレビの子ども育ち番組を見たり、新聞を読んだりする」「子育てに関する雑誌や本を読む」「インターネットなどを見る」の3つが特に高くなっている。ちなみに1位の項目として最も多かったのは「テレビの子ども育ち番組を見たり、新聞を読んだりする」の56.5%であった。

(項目ごとの総合得点を母数で除して加重平均で比較)

<Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別では、「(悩み・不安が)よくある」と回答した人においてもやはり「テレビの子育て番組を見たり、新聞を読んだりする」がトップとなっており、次いで「子育てに関する雑誌や本を読む」「インターネットなどを見る」の順となっている。

<Q13 家族以外で話を聞いてくれる人の有無別>

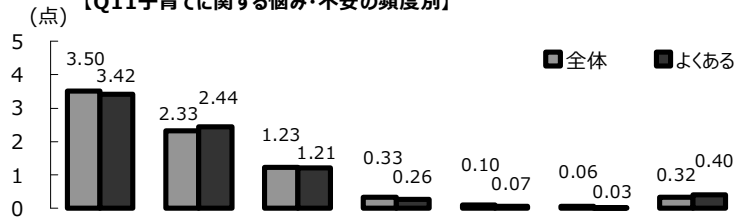
家族以外で話を聞いてくれる人の有無別でみると、「(話を聞いてくれる人が)いない」と回答した人においても高い順に、「テレビの子育て番組を見たり、新聞を読んだりする」「子育てに関する雑誌や本を読む」「インターネットなどを見る」となっている。

<Q14 家族以外で相談できる人の有無別>

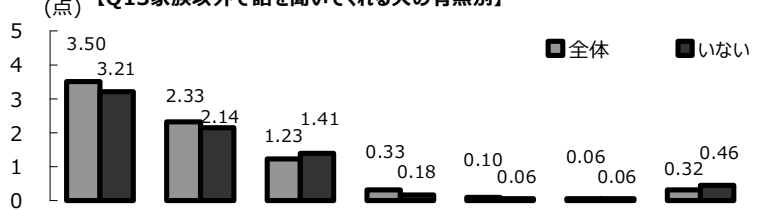
家族以外で相談できる人の有無別において「(相談できる人が)いない」と回答した人をも、同じく「テレビの子育て番組を見たり、新聞を読んだりする」「子育てに関する雑誌や本を読む」「インターネットなどを見る」の順となっている。

■家庭教育、子育ての知識に関する情報源（上位三つ）

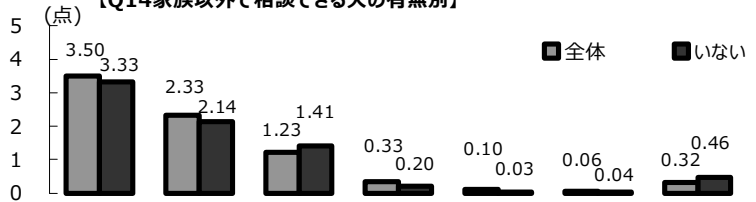
【Q11子育てに関する悩み・不安の頻度別】



【Q13家族以外で話を聞いてくれる人の有無別】



【Q14家族以外で相談できる人の有無別】



	るたテレビ、新聞の子育て番組を見	を子育てに関する雑誌や本	るインターネットなどを見る	演習や市町会などに参加する	県や市町会などに参加する	や講演会などに参加する	NPOや民間団体の主催する会	子育て講座や講演会などに参加する	その他
全体 (1985)	3.50	2.33	1.23	0.33	0.10	0.06	0.32		

【Q11子育てに関する悩み・不安の頻度】

よくある (453)	3.42	2.44	1.21	0.26	0.07	0.03	0.40
時々ある (997)	3.68	2.31	1.26	0.35	0.10	0.08	0.26
あまりない (437)	3.39	2.33	1.09	0.41	0.15	0.04	0.32
ほとんどない (78)	2.58	1.74	1.64	0.15	0.13	0.05	0.53

【Q13家族以外で話を聞いてくれる人の有無】

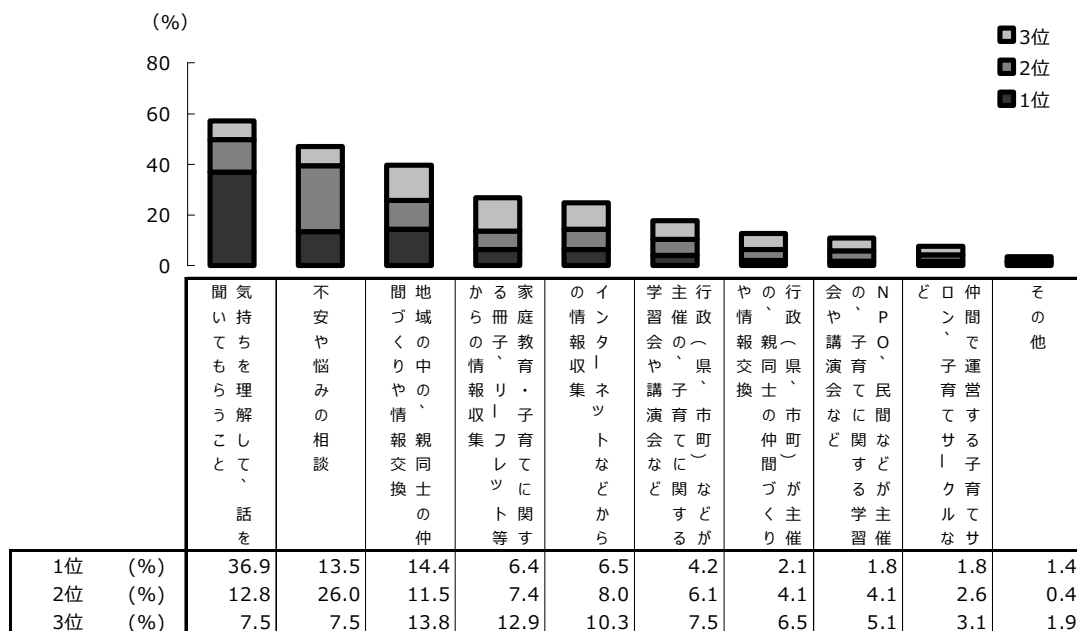
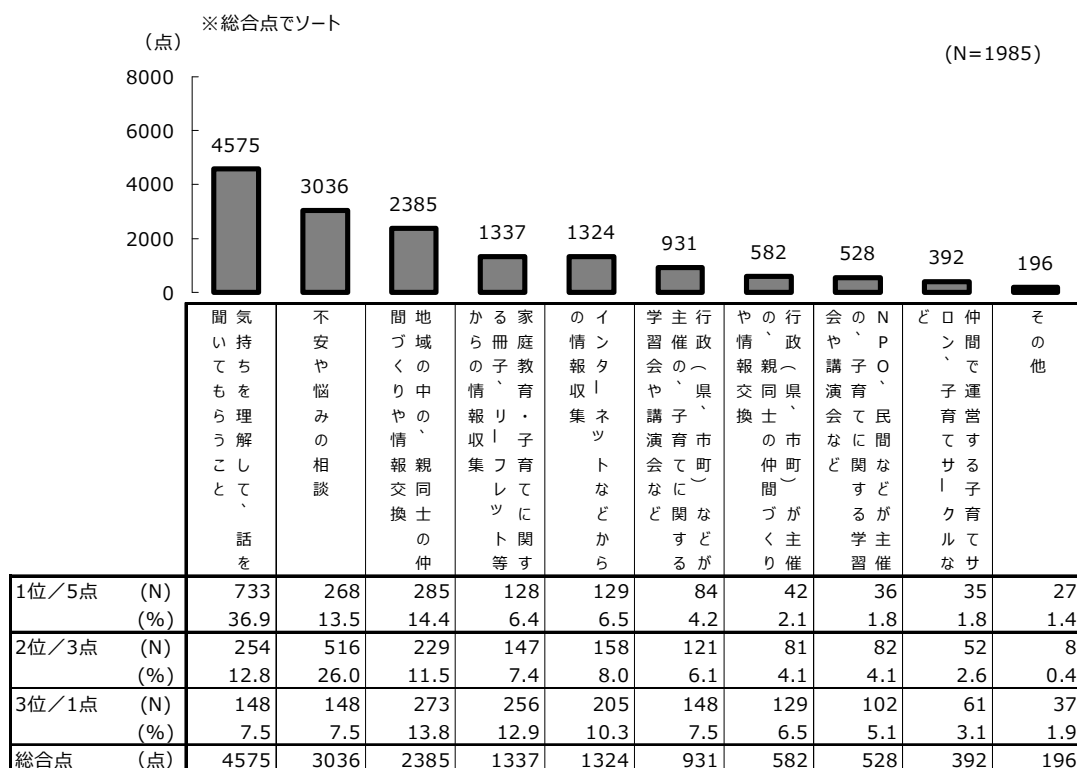
いる (1786)	3.55	2.35	1.21	0.35	0.11	0.05	0.30
いない (191)	3.21	2.14	1.41	0.18	0.06	0.06	0.46

【Q14家族以外で相談できる人の有無】

いる (1721)	3.55	2.37	1.21	0.35	0.11	0.06	0.30
いない (248)	3.33	2.14	1.41	0.20	0.03	0.04	0.46

問 18 あなたが今後、参加したり、行ったりしたいと思うのはどれですか。上位三つをお答えください。

■ 今後参加したり、行ったりしたいもの（上位三つ）



今後参加したり、行ったりしたいものとして1位から3位までの順位づけを求めた。1位を5点、2位を3点、3位を1点とし、実数(N数)に各得点を掛け合わせ、項目ごとに総合得点を算出したところ、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」「不安や悩みの相談」「地域の中の、親同士の仲間づくりや情報交換」などが高かった。

1位の項目として最も多いのは「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」で36.9%となっている。

(項目ごとの総合得点を母数で除して加重平均で比較)

<Q11 子育てに関する悩み・不安の頻度別>

子育てに関する悩み・不安の頻度別で、「(悩み・不安が)よくある」と回答した人についてみると、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」、「不安や悩みの相談」の意向が特に高くなっている。

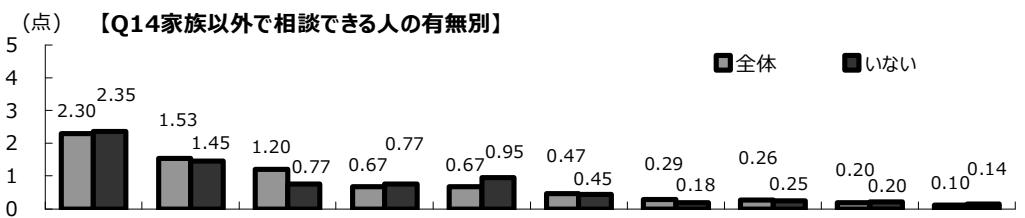
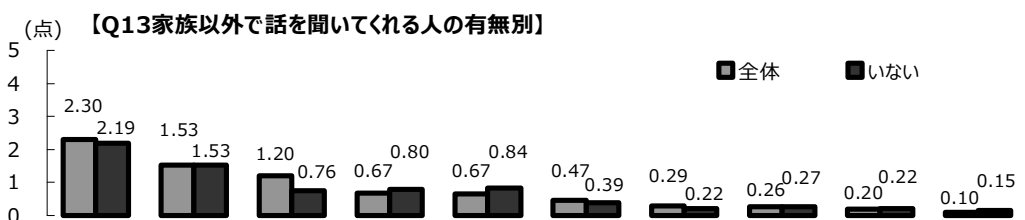
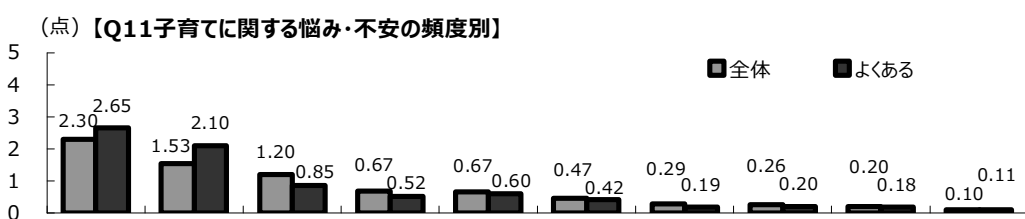
<Q13 家族以外で話を聞いてくれる人の有無別>

家族以外で話を聞いてくれる人の有無別でみると、「(話を聞いてくれる人が)いない」と回答した人においてもやはり「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」、「不安や悩みの相談」の2項目が高くなっている。

<Q14 家族以外で相談できる人の有無別>

家族以外で相談できる人の有無別において「(相談できる人が)いない」と回答した人をみてもやはり、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」、「不安や悩みの相談」の意向が高く、加えて「インターネットなどからの情報収集」も高くなっている。

■ 今後参加したり、行ったりしたいもの (上位三つ)



	話を聞いてもらうこと	気持ちを理解しての相談	仲間のやり取り	地域の情報収集	インターネット	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	その他
全体 (1985)	2.30	1.53	1.20	0.67	0.67	0.47	0.29	0.26	0.20	0.20	0.10	0.10

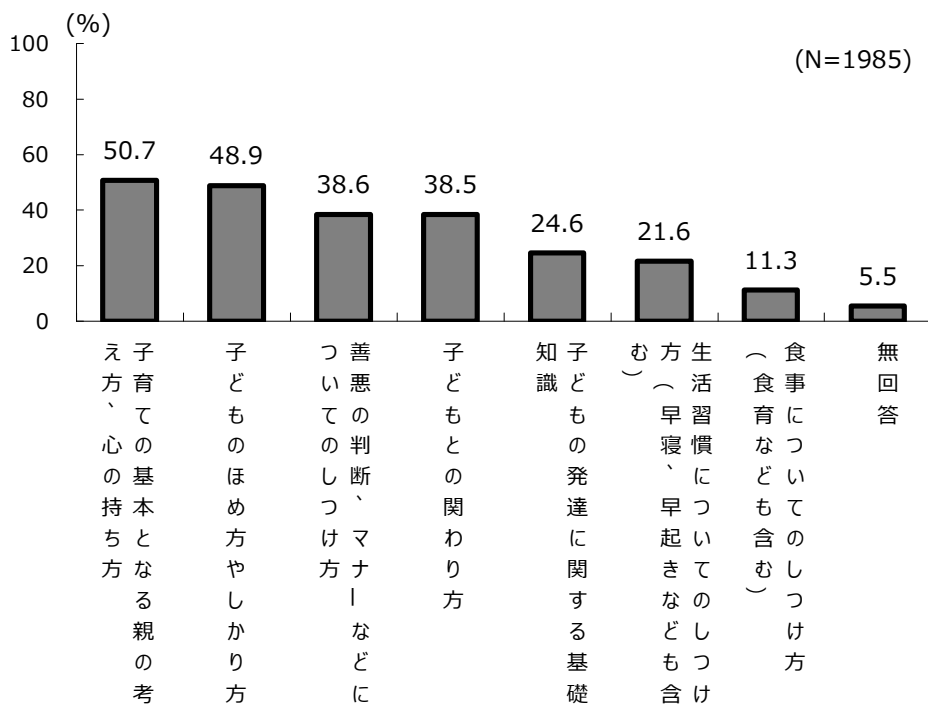
	話を聞いてもらうこと	気持ちを理解しての相談	仲間のやり取り	地域の情報収集	インターネット	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	その他
よくある (453)	2.65	2.10	0.85	0.52	0.60	0.42	0.19	0.20	0.18	0.18	0.11	0.11
時々ある (997)	2.40	1.57	1.25	0.69	0.68	0.47	0.28	0.25	0.19	0.19	0.09	0.09
あまりない (437)	1.92	0.95	1.44	0.79	0.64	0.55	0.43	0.38	0.23	0.23	0.09	0.09
ほとんどない (78)	1.54	0.90	1.14	0.62	0.92	0.31	0.32	0.23	0.26	0.26	0.28	0.28

	話を聞いてもらうこと	気持ちを理解しての相談	仲間のやり取り	地域の情報収集	インターネット	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	その他
いる (1786)	2.33	1.54	1.25	0.66	0.65	0.48	0.30	0.27	0.20	0.20	0.09	0.09
いない (191)	2.19	1.53	0.76	0.80	0.84	0.39	0.22	0.27	0.22	0.22	0.15	0.15

	話を聞いてもらうこと	気持ちを理解しての相談	仲間のやり取り	地域の情報収集	インターネット	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	行政機関	子育て支援	その他
いる (1721)	2.32	1.55	1.27	0.67	0.63	0.47	0.31	0.27	0.20	0.20	0.09	0.09
いない (248)	2.35	1.45	0.77	0.77	0.95	0.45	0.18	0.25	0.20	0.20	0.14	0.14

問 19 アドバイスを受けたり、学習することができたりするとしたら、どのような内容を希望しますか。
 (〇はあてはまるものすべて)

■アドバイスを受けたり、学習したい内容（複数回答）



アドバイスを受けたり、学習したい内容について、選択肢の中から複数回答で求めたところ、「子育ての基本となる親の考え方、心の持ち方」が 50.7%で最も高く、「子どものほめ方やしかり方」48.9%、「善悪の判断、マナーなどについてのしつけ方」38.6%、「子どもとの関わり方」38.5%、「子どもの発達に関する基礎知識」24.6%、「生活習慣についてのしつけ方」21.6%、「食事についてのしつけ方」11.3%と続く。

<属性別>

回答者続柄別でみると、「父」「母」ともに「子どものほめ方やしかり方」が5割近くの数字をマークして高くなっているが、「子育ての基本となる親の考え方、心の持ち方」については「父」38.7%、「母」51.8%と、特に「母」で高い項目となっている。

回答者年齢別では、35歳以上のいずれの年齢層も「子育ての基本となる親の考え方、心の持ち方」が50%台で高くなっている。また「子どものほめ方やしかり方」についても年齢を問わず4～5割程度と高い数値であるが、特に「35～39歳」で56.6%と高い。

家族構成別でみると、「3世代家族」において「子育ての基本となる親の考え方、心の持ち方」が56.3%と高い数値となっている。

■ アドバイスを受けたり、学習したい内容（複数回答）

（単位：％ カッコ内は実数） ※網掛けは全体よりも5%以上高いもの

住んでいる地域別では、「近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域」の人で「子どもの発達に関する基礎知識」が43.1%と特に高くなっている。

	子育ての 心の持ち 方となる 親の考え	子どもの ほめ方や しかり方	善悪の 判断、 マナー などに ついて	子ども との関 わり方	子ども の発達 に関する 基礎知識	（生活 習慣、 早起き なども 含む）	食事に ついて のしつ け方（ 食育 含む）	無 回 答
全体 (1985)	50.7	48.9	38.6	38.5	24.6	21.6	11.3	5.5
【回答者続柄】								
父 (150)	38.7	47.3	43.3	31.3	20.7	29.3	10.7	10.7
母 (1819)	51.8	49.1	38.4	39.1	24.9	21.1	11.4	4.8
その他 (13)	46.2	38.5	23.1	46.2	30.8	7.7	15.4	30.8
【回答者年齢】								
29歳以下 (6)	50.0	33.3	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
30～34歳 (50)	30.0	40.0	44.0	30.0	20.0	24.0	12.0	6.0
35～39歳 (389)	50.4	56.6	40.9	39.3	23.4	19.0	11.3	4.1
40～44歳 (910)	51.1	48.4	39.1	38.4	25.7	21.8	12.1	4.6
45～49歳 (492)	52.2	45.9	34.6	37.8	24.0	20.9	9.8	7.1
50歳以上 (136)	52.2	44.9	41.9	44.9	24.3	30.1	11.0	8.1
【家族構成】								
核家族 (1035)	48.9	50.2	40.2	37.8	23.5	21.9	11.9	5.7
3世代家族 (645)	56.3	49.3	37.2	40.3	25.4	21.7	10.9	4.7
ひとり親家族 (281)	45.9	43.4	37.0	37.4	27.4	20.6	10.3	5.7
その他 (15)	40.0	46.7	33.3	46.7	26.7	13.3	20.0	20.0
【子どもの人数】								
1人っ子 (272)	46.0	43.4	32.4	42.6	25.0	24.3	11.0	6.6
兄弟姉妹あり (1642)	51.5	50.1	39.6	38.1	24.4	21.3	11.6	5.2
【就学前の状況】								
幼稚園に通っていた (1322)	52.6	49.1	37.4	38.9	24.4	21.0	11.6	5.1
保育園に通っていた (637)	47.6	49.1	40.5	38.6	25.0	23.1	10.8	6.1
通っていない (10)	30.0	50.0	50.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0
【住んでいる地域】								
住民のつながりが深く、 近所のつき合いがさかんな地域 (302)	52.0	44.7	39.7	36.4	24.5	22.2	11.6	3.6
住民のつながりがあり、地域の行事の 時はみんなで取り組むような地域 (1388)	51.8	50.4	38.5	39.6	23.9	20.9	11.5	5.7
近所のつながりがあまりなく、地域の 行事への取り組みも低調な地域 (233)	43.8	46.8	40.3	36.9	24.5	23.6	9.0	6.0
近所とはお互いにかかわらない 雰囲気がある地域 (51)	51.0	41.2	25.5	35.3	43.1	27.5	13.7	3.9

III 調査票

Ⅲ 調査票

平成 24 年度 家庭教育実態調査（保護者用）

静岡県教育委員会社会教育課

この調査は、県内の中学校 2 年生のお子様をお持ちのご家庭について、家庭教育の様子や保護者の方の意識などの傾向を調べるために行うものです。調査の結果を目的以外に使用することは一切ありませんので、ありのままにお答えください。

この調査は、日ごろお子様に家庭教育を行っている（かかわる）ことが多い保護者の方がお答えください。

それぞれの質問について、調査票の記号を丸で囲むか、あるいは回答欄に記号を記入してください。また、回答として「その他」を選んだ場合には、横の（ ）内に簡潔にご記入ください。

なお、質問文中の「お子様」は、中学校 2 年生のお子様を基本としてお考え下さい。

ご記入後は、お手数ですが学校で指定した日までに担任の先生へご提出ください。

問 1 お子様との続柄をお答えください。（○は 1 つ）

- | | | |
|-----|-----|----------|
| 1 父 | 2 母 | 3 その他（ ） |
|-----|-----|----------|

問 2 回答者の現在の年齢についてお答えください。（○は 1 つ）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 29 歳以下 | 2 30 歳～34 歳 | 3 35 歳～39 歳 |
| 4 40 歳～44 歳 | 5 45 歳～49 歳 | 6 50 歳以上 |

問 3 家族（同居）の構成員をすべて選んでください（回答者を含む）。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|-----------|---------|
| 1 父 | 2 母 |
| 3 子ども（ ）人 | 4 祖父 |
| 5 祖母 | 6 その他の方 |

問 4 お子様は、幼稚園または保育園に通っていましたか。幼保園（こども園）の場合は、実態に近い型の方をお答えください。（○は 1 つ）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 幼稚園に通っていた（幼稚園型） | 2 保育園に通っていた（保育園型） |
| 3 どちらにも通っていなかった | |

問 5 住んでいる地域について、最も近いものを選んでください。（○は 1 つ）

- | |
|------------------------------------|
| 1 住民のつながりが深く、近所のつき合いがさかんな地域 |
| 2 住民のつながりがあり、地域の行事の時はみんなで取り組むような地域 |
| 3 近所のつながりがあまりなく、地域の行事への取り組みも低調な地域 |
| 4 近所とはお互いにかかわらない雰囲気がある地域 |

問6 あなたの就業状態はどのようですか。(○は1つ)

1 仕事をしている	2 仕事をしていない →問7へ
-----------	-----------------

問6で「1」と答えた方がお答えください。

→ 問6-1 仕事の状況はどのようですか。(○はあてはまるものを全て)

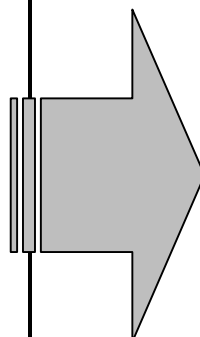
1 家で内職などをしている 2 日中にパートタイムで働いている (家業を含む) 3 深夜や早朝にパートタイムで働いている (家業を含む) 4 フルタイムで働いている (家業を含む)

→ 問6-2 仕事の休みはいつですか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 土・日が休み 2 休みに土・日のどちらかが含まれる 3 平日のみ休み 4 不定休

問7 お子様への家庭教育(しつけ等)の中で、特に力を入れていること上位三つをお答えください。

① あいさつや返事、言葉づかい ② 約束やルールを守ること ③ 相手を思いやる気持ち ④ 善悪の判断 ⑤ 公共の場や集団の中でのマナー ⑥ 片付け ⑦ 早寝早起き、食事などの基本的な生活習慣 ⑧ 子どもの自主性の尊重 ⑨ 友達との関わり方 ⑩ スポーツなどの運動 ⑪ 芸術などの習い事 ⑫ 読み聞かせ、読書 ⑬ 手伝い ⑭ その他 () ⑮ 特に重点を置いていることはない



※こちらに
番号を回答ください。

例) 1位	①
1位	
2位	
3位	

問8 お子様への家庭教育(しつけ等)の状況について、ご自分ではどのように思っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 必要なことは、きちんと教育できている 2 足りない部分もあるが、教育できていることが多い 3 教育できていることもあるが、足りないことが多い 4 ほとんどのことが、きちんと教育できていない

問9 お子様とのかかわりの中で、お子様をほめることはありますか。(○は1つ)

1 よくほめる	2 時々ほめる
3 あまりほめない	4 ほとんどほめない

※問9で「1」「2」と答えた方がお答えください。

問9-1 ほめることについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 ほめることが、家庭教育(しつけ等)の中で大切なことだと思う
2 ほめることでのびのびと育てたい
3 ほめるようにしているが、うまくできないと感じる時もある
4 その他()

※問9で「3」「4」と答えた方がお答えください。

問9-2 ほめないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 むやみにほめて子どもを甘やかしたくない
2 他の家族がよくほめるので、自分はほめない
3 どんな時にほめたらよいかわからない
4 子どもと接する時間が少なく、ほめる機会がない
5 その他()

問10 お子様とのかかわりの中で、お子様をしかることはありますか。(○は1つ)

1 よくしかる	2 時々しかる
3 あまりしからない	4 ほとんどしからない

※問10で「1」「2」と答えた方がお答えください。

問10-1 しかることについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 必要なときはしかることが、家庭教育(しつけ等)の中で大切なことだと思う
2 子どもを甘やかしたくない
3 必要なときはしかるが、うまくできないと感じる時もある
4 その他()

※問10で「3」「4」と答えた方がお答えください。

問10-2 しからないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 しかり過ぎると、子どもがのびのびと育たない
2 他の家族がよくしかるので、自分はしからない
3 どんな時にしかったらよいかわからない
4 子どもと接する時間が少なく、しかる機会がない
5 その他()

問 1 1 子育ての中で、悩んだり、不安になったりすることがありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 よくある | 2 時々ある |
| 3 あまりない →問 12へ | 4 ほとんどない →問 12へ |

※問 1 1 で「1」「2」と答えた方がお答えください。

→ 問 1 1-1 悩んだり、不安になったりすることは、どんなことですか。

(○はあてはまるものすべて)

- | |
|----------------------------|
| 1 しつけの方法、タイミングがわからない |
| 2 子育てについて、他の家族と意見が合わない |
| 3 忙しく、余裕を持って子どもに接することができない |
| 4 自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない |
| 5 自分の子育てについて、まわりの目や評価が気になる |
| 6 その他 () |

問 1 2 子育てをしていくにあたり、あなたを手助けしてくれる人は誰ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|-----------------------|
| 1 配偶者(夫、妻)が助けてくれる |
| 2 同居の祖父母が助けてくれる |
| 3 別居の祖父母が助けてくれる |
| 4 兄弟の中で、年長の子どもが助けてくれる |
| 5 特にいない |
| 6 その他 () |

問13 子育てについて、家族以外で話を聞いてもらえる（ぐちを聞いてもらえる、ちょっとしたアドバイスをももらえるなど）人はいますか。（○は1つ）

1 いる	2 いない
------	-------

※問13で「1」と答えた方がお答えください。

問13-1 その人はどのような人ですか。（○はあてはまるものすべて）

1	中学校の先生
2	卒園した幼稚園、保育園の先生、卒業した小学校の先生
3	学習塾や習い事の先生、クラブチームの監督やコーチなど
4	同じ年の子どもを持つ保護者仲間
5	異学年（上の学年など）の子どもを持つ保護者仲間
6	近所に住む、子育ての終わった経験豊富な方
7	市や町の相談機関の担当者
8	NPOなど民間の相談機関の担当者
9	インターネットの交流サイトなどで知り合った、子育て仲間
10	その他（ ）

※問13で「2」と答えた方がお答えください。

問13-2 それぞれいない理由として最も近いものを選んでください。（○は1つ）

1	まわりに話を聞いてもらえるような人がいない
2	話を聞いてもらうことに抵抗がある
3	相談機関がまわりにない
4	相談機関にかかるほど、大きな問題ではないと思う
5	本やインターネットなどで調べて解決できる
6	自分で考えて乗り越える問題だと思う
7	その他（ ）

問14 子育てについて、家族以外に相談できる人はいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

※問14で「1」と答えた方がお答えください。

問14-1 その人はどのような人ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 中学校の先生
- 2 卒園した幼稚園、保育園の先生、卒業した小学校の先生
- 3 学習塾や習い事の先生、クラブチームの監督やコーチなど
- 4 同じ年の子どもを持つ保護者仲間
- 5 異学年(上の学年など)の子どもを持つ保護者仲間
- 6 近所に住む、子育ての終わった経験豊富な方
- 7 市や町の相談機関の担当者
- 8 NPOなど民間の相談機関の担当者
- 9 インターネットの交流サイトなどで知り合った、子育て仲間
- 10 その他 ()

※問14で「2」と答えた方がお答えください。

問14-2 それぞれいない理由として最も近いものを選んでください。(○は1つ)

- 1 まわりに相談できる人がいない
- 2 相談することに抵抗がある
- 3 相談機関がまわりにない
- 4 相談機関にかかるほど、大きな問題ではないと思う
- 5 本やインターネットなどで調べて解決できる
- 6 自分で考えて乗り越える問題だと思う
- 7 その他 ()

問15 これから、子育てについて話を聞いてもらう(ぐちを聞いてもらう、ちょっとしたアドバイスももらうなど)ならどのような人がいいですか。上位三つをお答えください。

- ① 中学校の先生
- ② 卒園した幼稚園、保育園の先生、卒業した小学校の先生
- ③ 学習塾や習い事の先生、クラブチームの監督やコーチなど
- ④ 同じ年の子どもを持つ中学校の保護者仲間
- ⑤ 異学年(上の学年など)の子どもを持つ中学校の保護者仲間
- ⑥ 近所に住む、子育ての終わった経験豊富な方
- ⑦ インターネット上の仲間
- ⑧ 家庭教育(しつけ等)や子どもの発達に関する専門的知識を持っている人
- ⑨ その他 ()

※こちらに
番号を回答ください。

例) 1位	①
1位	
2位	
3位	

問19 アドバイスを受けたり、学習することができたりするとしたら、どのような内容を希望しますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 子どものほめ方やしかり方 |
| 2 | 食事についてのしつけ方(「食育」なども含む) |
| 3 | 生活習慣についてのしつけ方(早寝、早起きなども含む) |
| 4 | 善悪の判断、マナーなどについてのしつけ方 |
| 5 | 子どもとの関わり方 |
| 6 | 子育ての基本となる親の考え方・心の持ち方 |
| 7 | 子どもの発達に関する基礎知識 |

※調査は以上で終了です。御協力ありがとうございました。

平成24年度 家庭教育実態調査
報告書
平成24年10月

静岡県教育委員会 社会教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話 054-221-3115

FAX 054-221-3362

電子メール kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp